
第二次上田市総合計画
住民アンケート
調査結果報告書

平成 26 年 11 月

目 次

第1章 調査概要	1
1 調査目的	1
2 調査概要	1
(1) 調査対象	1
(2) 調査期間	1
(3) 調査方法	1
(4) 設問内容	1
(5) アンケート回収状況	1
第2章 調査結果	2
1 住民アンケート調査結果	2
(1) 回答属性	2
(2) 上田市の住みやすさについて	3
(3) 市の全般的な施策や事業等に対する評価	16
(4) 土地利用に対する住民の意向について	22
(5) 今後の公共施設のあり方について	26
2 自由意見	33
(1) 「上田市の自慢できるもの・こと」について	33
(2) 今後のまちづくりや市政に対する意見・要望、提案	35
第3章 第二次上田市総合計画策定に向けて	36
1 住民アンケート結果からみえる課題の整理	36
(1) 『上田市の暮らしやすさ』を生かした施策立案を	36
(2) 「にぎわい創出」、「医療・福祉の充実」、「買い物など日常生活の向上」が課題	36
(3) 若い世代が住みたいと思えるまちづくりの必要性	36
(4) 誰もが健康で、安心して暮らすことができるまちづくりの推進	37
(5) 上田市の魅力を生かした「にぎわい創出」につながる施策の展開	37
(6) 子どもから高齢者まで誰もが利用しやすい公共交通の充実	37
(7) 将来を見据えた公共施設の再編・再配置、長寿命化の取り組み	37
2 まとめ～第二次上田市総合計画策定に向けて～	38
<参考資料編>	1
1 アンケート調査票	2
2 自由意見	16

(1) 「上田市の自慢できること・もの」について.....	16
(2) 今後のまちづくりや行政に対する意見・要望、提案など.....	18

第 1 章 調査概要

1 調査目的

本調査は、住民を対象に上田市の住みやすさ及びその理由、市の全般的な施策に対する評価、土地利用方法、今後の公共施設のあり方等についてアンケート調査を実施した。本調査により、住民が考える施策に対する評価や要望事項などから実態や課題を把握・分析することで、第二次上田市総合計画策定における基礎資料とすることを目的とした。

2 調査概要

(1) 調査対象

市内 18 歳以上の住民 5,000 人を対象に無作為抽出

(2) 調査期間

平成 26 年 8 月 21 日（金）～平成 26 年 9 月 8 日（月）

(3) 調査方法

郵送配布・郵送回収

(4) 設問内容

- ・上田市の住みやすさ及びその理由
- ・上田市の住みにくさ及びその理由
- ・市の全般的な施策に対する評価
- ・将来の土地利用方法
- ・今後の公共施設のあり方
- ・上田市の自慢できること・もの
- ・今後のまちづくりや市政に対する意見・要望、提案 等

(5) アンケート回収状況

回答者数 1,987 名

回収率 39.7%

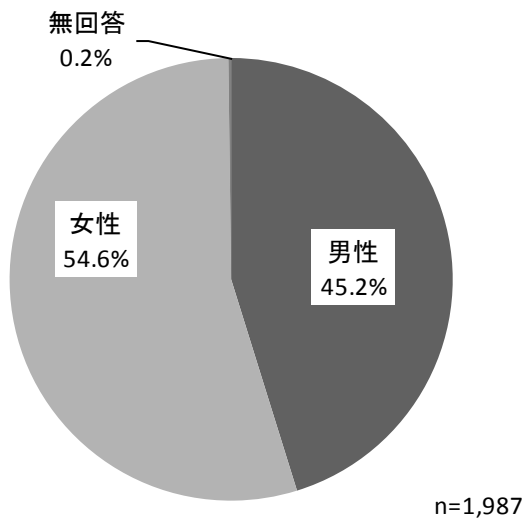
第2章 調査結果

1 住民アンケート調査結果

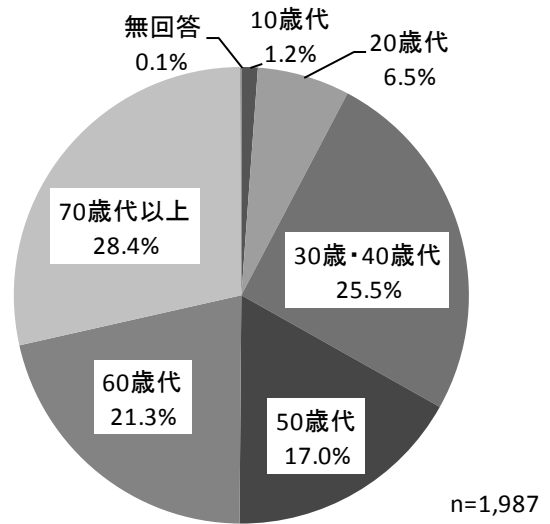
※四捨五入の関係から、構成比の合計が100%にならない箇所があります。

(1) 回答属性

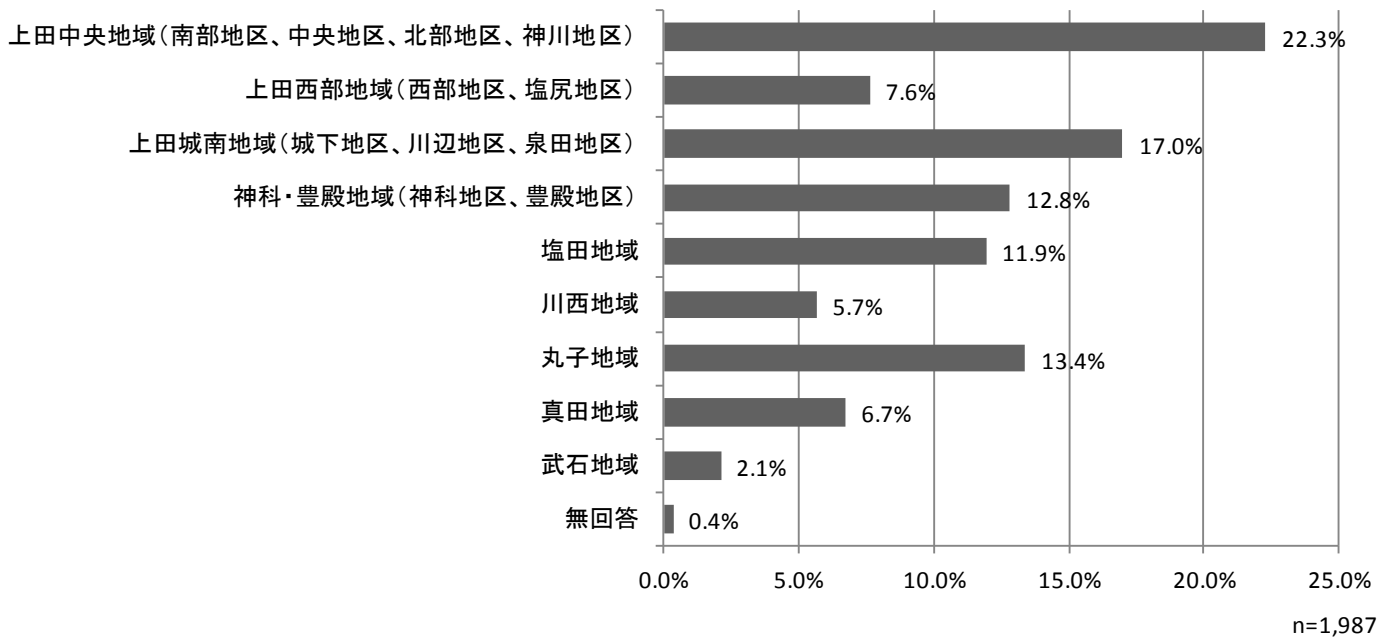
①性別



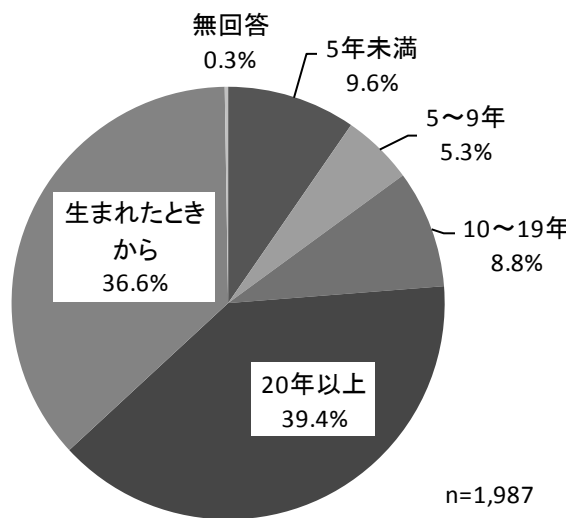
②年代



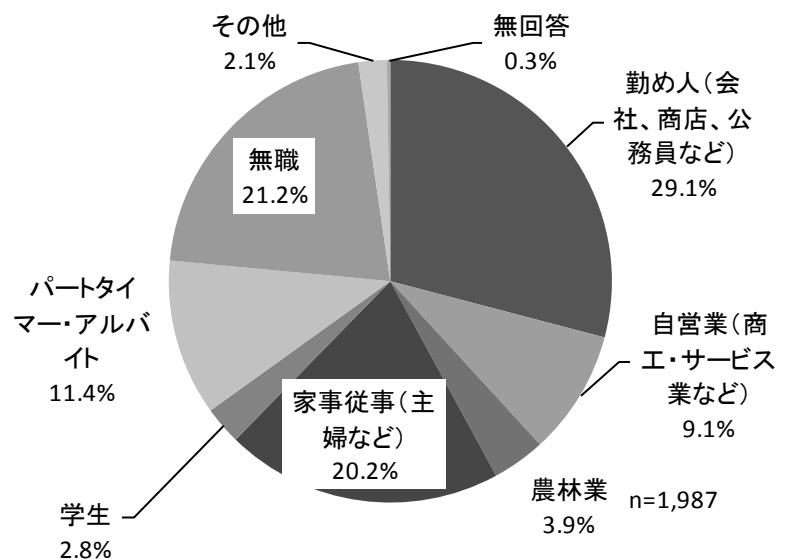
③居住地域



④居住年数



⑤職業



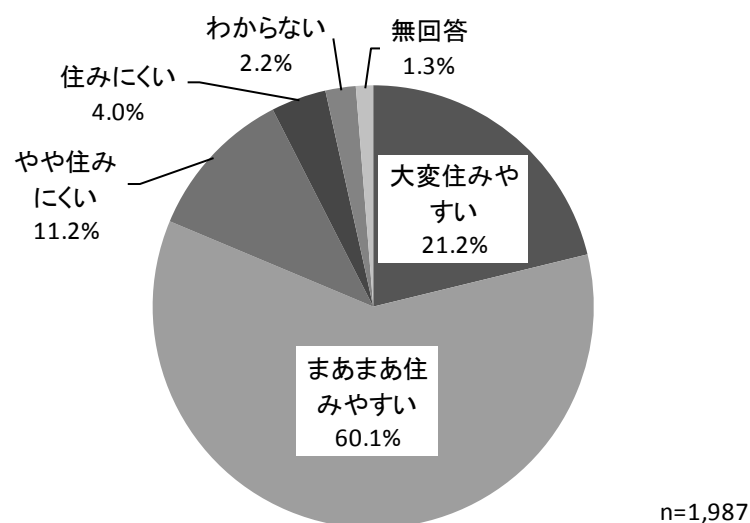
(2) 上田市の住みやすさについて

①上田市は住みやすいまちだと思いますか

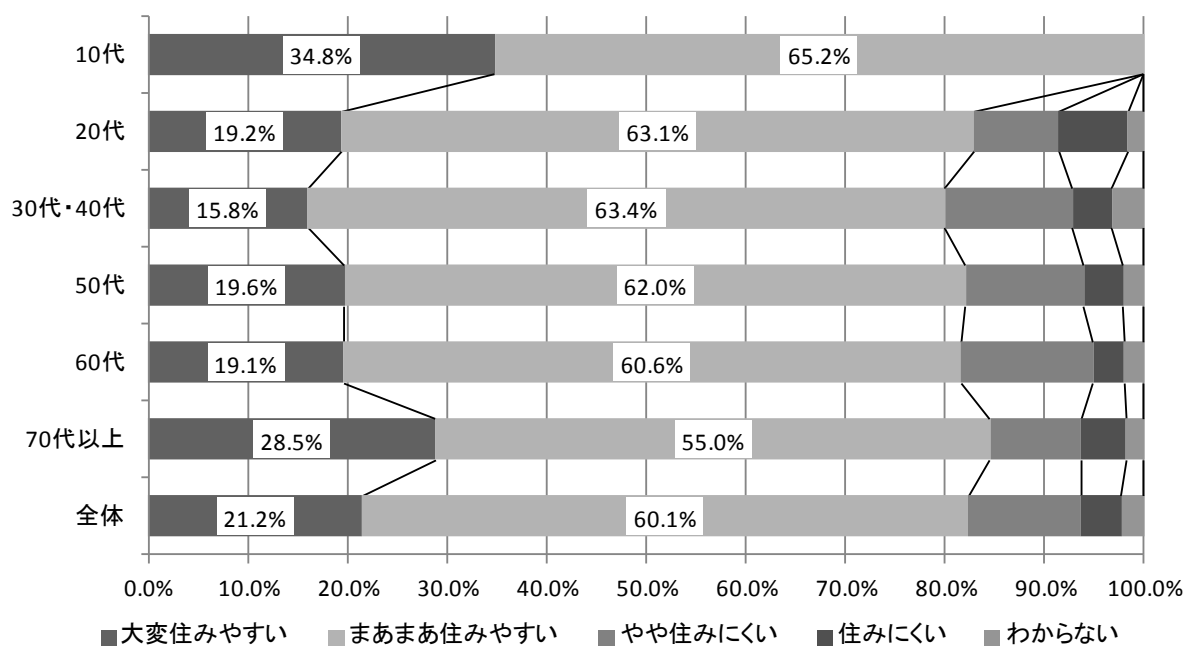
上田市に対して、8割を超える住民が「大変住みやすい」、「まあまあ住みやすい」と回答している。一方、「住みにくい」、「やや住みにくい」が2割を下回っており、住民の多くが上田市は住みやすいと感じている。

年代別で見ると、70代では3割近くの住民が「大変住みやすい」と回答している。また、「大変住みやすい」、「まあまあ住みやすい」を合わせると、10代、20代など若い世代でも高い傾向となっている。

居住地域別では、「武石地域」で「大変住みやすい」、「まあまあ住みやすい」を回答した割合が最も低かった。次いで、「川西地域」、「丸子地域」が低い傾向となった。



< 上田市は住みやすいまちだと思いますか × 年代 >



n=1,987

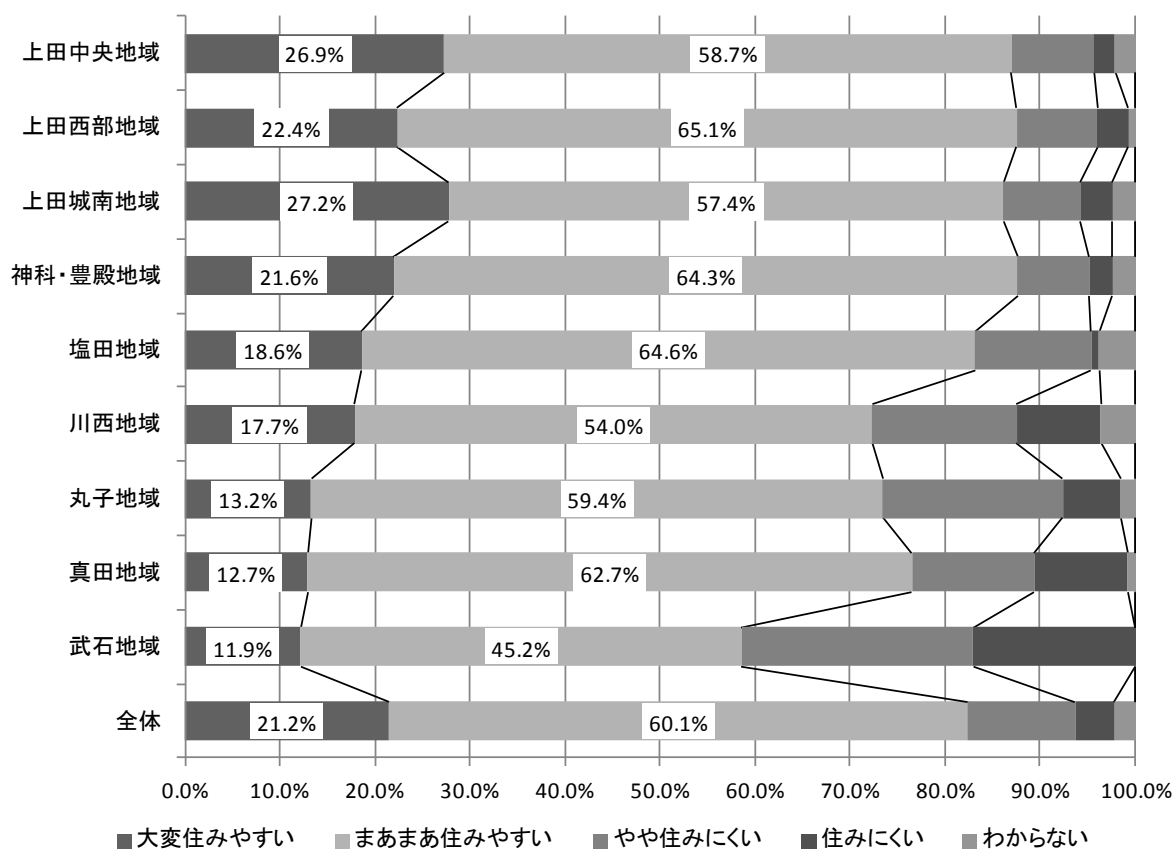
※上記グラフには無回答は掲載していません。

n=1,987

	年代							
	10代	割合	20代	割合	30代・40代	割合	50代	割合
大変住みやすい	8	34.8%	25	19.2%	80	15.8%	66	19.6%
まあまあ住みやすい	15	65.2%	82	63.1%	321	63.4%	209	62.0%
やや住みにくい	0	0.0%	11	8.5%	64	12.6%	40	11.9%
住みにくい	0	0.0%	9	6.9%	20	4.0%	13	3.9%
わからない	0	0.0%	2	1.5%	16	3.2%	7	2.1%
無回答	0	0.0%	1	0.8%	5	1.0%	2	0.6%
合計	23	100.0%	130	100.0%	506	100.0%	337	100.0%

	年代							
	60代	割合	70代以上	割合	無回答	割合	全体	割合
大変住みやすい	81	19.1%	161	28.5%	0	0.0%	421	21.2%
まあまあ住みやすい	257	60.6%	311	55.0%	0	0.0%	1,195	60.1%
やや住みにくい	55	13.0%	51	9.0%	1	50.0%	222	11.2%
住みにくい	13	3.1%	25	4.4%	0	0.0%	80	4.0%
わからない	8	1.9%	10	1.8%	1	50.0%	44	2.2%
無回答	10	2.4%	7	1.2%	0	0.0%	25	1.3%
合計	424	100.0%	565	100.0%	2	100.0%	1,987	100.0%

< 上田市は住みやすいまちだと思いますか × 居住地域 >



n=1,987

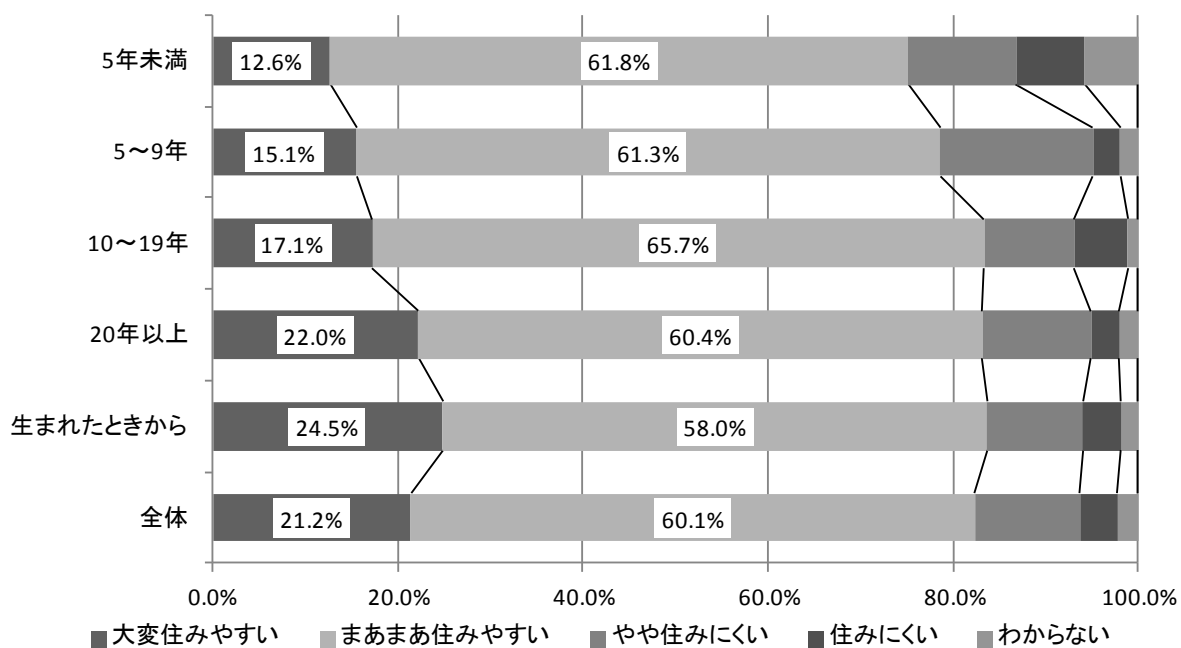
※上記グラフには無回答は掲載していません。

n=1,987

	居住地域											
	上田中央地域	割合	上田西部地域	割合	上田城南地域	割合	神科・豊殿地域	割合	塩田地域	割合	川西地域	割合
大変住みやすい	119	26.9%	34	22.4%	92	27.2%	55	21.6%	44	18.6%	20	17.7%
まあまあ住みやすい	260	58.7%	99	65.1%	194	57.4%	164	64.3%	153	64.6%	61	54.0%
やや住みにくい	38	8.6%	13	8.6%	27	8.0%	19	7.5%	29	12.2%	17	15.0%
住みにくい	10	2.3%	5	3.3%	11	3.3%	6	2.4%	2	0.8%	10	8.8%
わからない	9	2.0%	1	0.7%	8	2.4%	6	2.4%	9	3.8%	4	3.5%
無回答	7	1.6%	0	0.0%	6	1.8%	5	2.0%	0	0.0%	1	0.9%
合計	443	100.0%	152	100.0%	338	100.0%	255	100.0%	237	100.0%	113	100.0%

	居住地域									
	丸子地域	割合	真田地域	割合	武石地域	割合	無回答	割合	全体	割合
大変住みやすい	35	13.2%	17	12.7%	5	11.9%	0	0.0%	421	21.2%
まあまあ住みやすい	158	59.4%	84	62.7%	19	45.2%	3	42.9%	1,195	60.1%
やや住みにくい	50	18.8%	17	12.7%	10	23.8%	2	28.6%	222	11.2%
住みにくい	16	6.0%	13	9.7%	7	16.7%	0	0.0%	80	4.0%
わからない	4	1.5%	1	0.7%	0	0.0%	2	28.6%	44	2.2%
無回答	3	1.1%	2	1.5%	1	2.4%	0	0.0%	25	1.3%
合計	266	100.0%	134	100.0%	42	100.0%	7	100.0%	1,987	100.0%

< 上田市は住みやすいまちだと思いますか × 居住年 >



n=1,987

※上記グラフには無回答は掲載していません。

n=1,987

	居住年							
	5年未満	割合	5～9年	割合	10～19年	割合	20年以上	割合
大変住みやすい	24	12.6%	16	15.1%	30	17.1%	172	22.0%
まあまあ住みやすい	118	61.8%	65	61.3%	115	65.7%	472	60.4%
やや住みにくい	22	11.5%	17	16.0%	17	9.7%	91	11.6%
住みにくい	14	7.3%	3	2.8%	10	5.7%	23	2.9%
わからない	11	5.8%	2	1.9%	2	1.1%	16	2.0%
無回答	2	1.0%	3	2.8%	1	0.6%	8	1.0%
合計	191	100.0%	106	100.0%	175	100.0%	782	100.0%

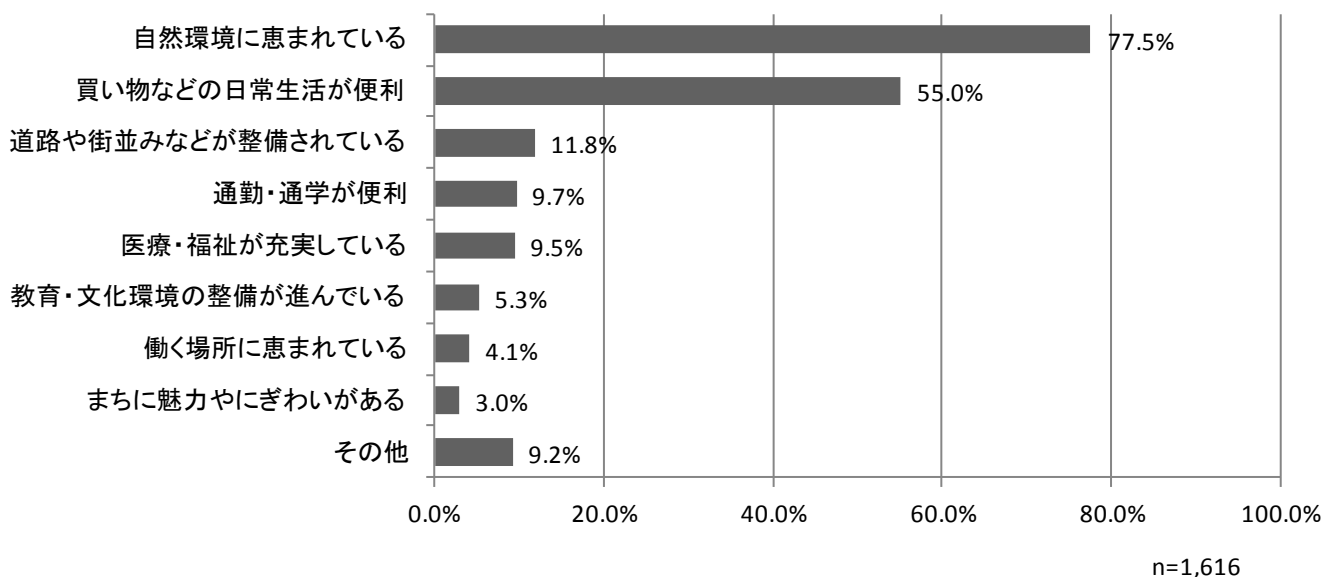
	居住年					
	生まれたときから	割合	無回答	割合	全体	割合
大変住みやすい	178	24.5%	1	20.0%	421	21.2%
まあまあ住みやすい	422	58.0%	3	60.0%	1,195	60.1%
やや住みにくい	74	10.2%	1	20.0%	222	11.2%
住みにくい	30	4.1%	0	0.0%	80	4.0%
わからない	13	1.8%	0	0.0%	44	2.2%
無回答	11	1.5%	0	0.0%	25	1.3%
合計	728	100.0%	5	100.0%	1,987	100.0%

②住みやすいと感じる主な理由について（「大変住みやすい」「まあまあ住みやすい」の計）

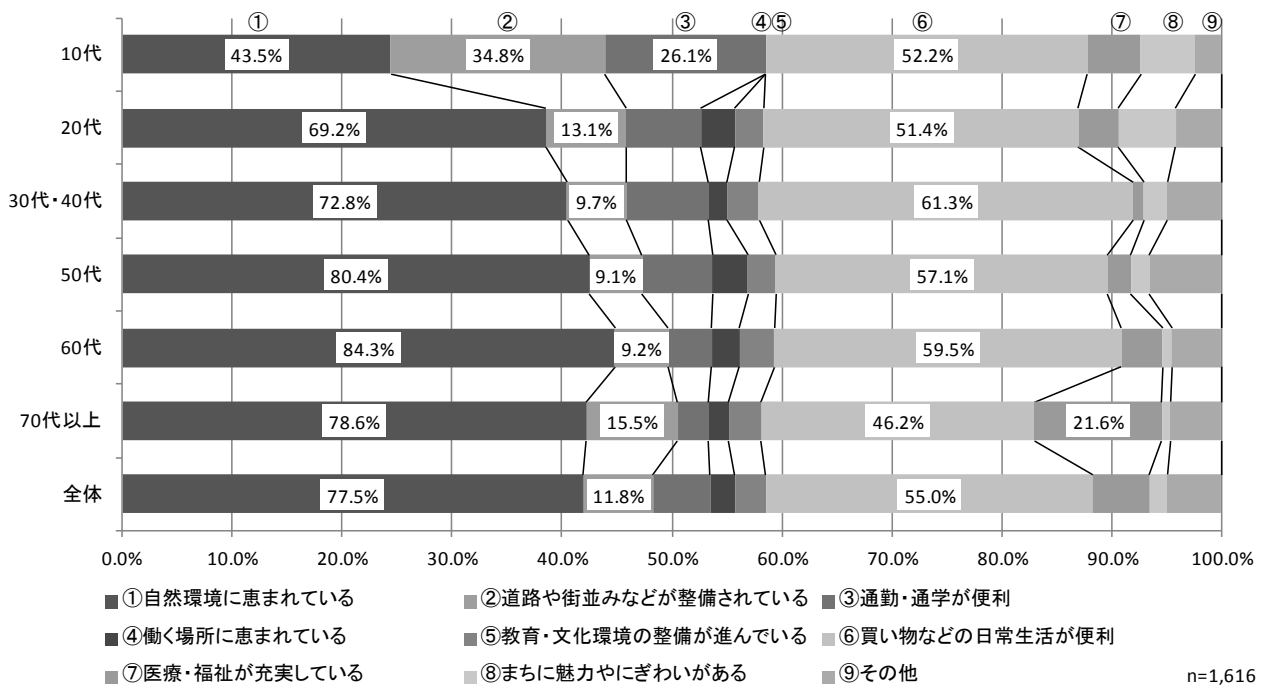
住みやすいと感じる理由として、「自然環境に恵まれている」（77.5%）が最も回答割合が高かった。次いで、5割を超える住民が「買い物などの日常生活が便利」を挙げている。自然環境と買い物に対する利便性が、住みやすい主な要因となっている。

年代別でみると、50代、60代で8割を超える住民が「自然環境に恵まれている」と回答するなど年代が高い層で傾向が強いといえる。「買い物などの日常生活が便利」では、30代・40代が6割を超えているが、70代では5割を下回っている。10代では、「道路や街並みなどが整備されている」（34.8%）、「通勤・通学が便利」（26.1%）が他の年代に比べ回答割合が高かった。

居住地域別では、真田地域と武石地域において9割程が「自然環境に恵まれている」を住みやすい理由としている。一方、「買い物などの日常生活が便利」の設問では、真田地域が24.8%、武石地域が4.2%と他の地域に比べ極端に低い結果となった。また、「医療・福祉が充実している」は、全体的に住みやすい理由として回答が少なかったものの、武石地域では4割を超える住民が住みやすい理由の1つに挙げている。



< 住みやすいと感じる理由 × 年代 >



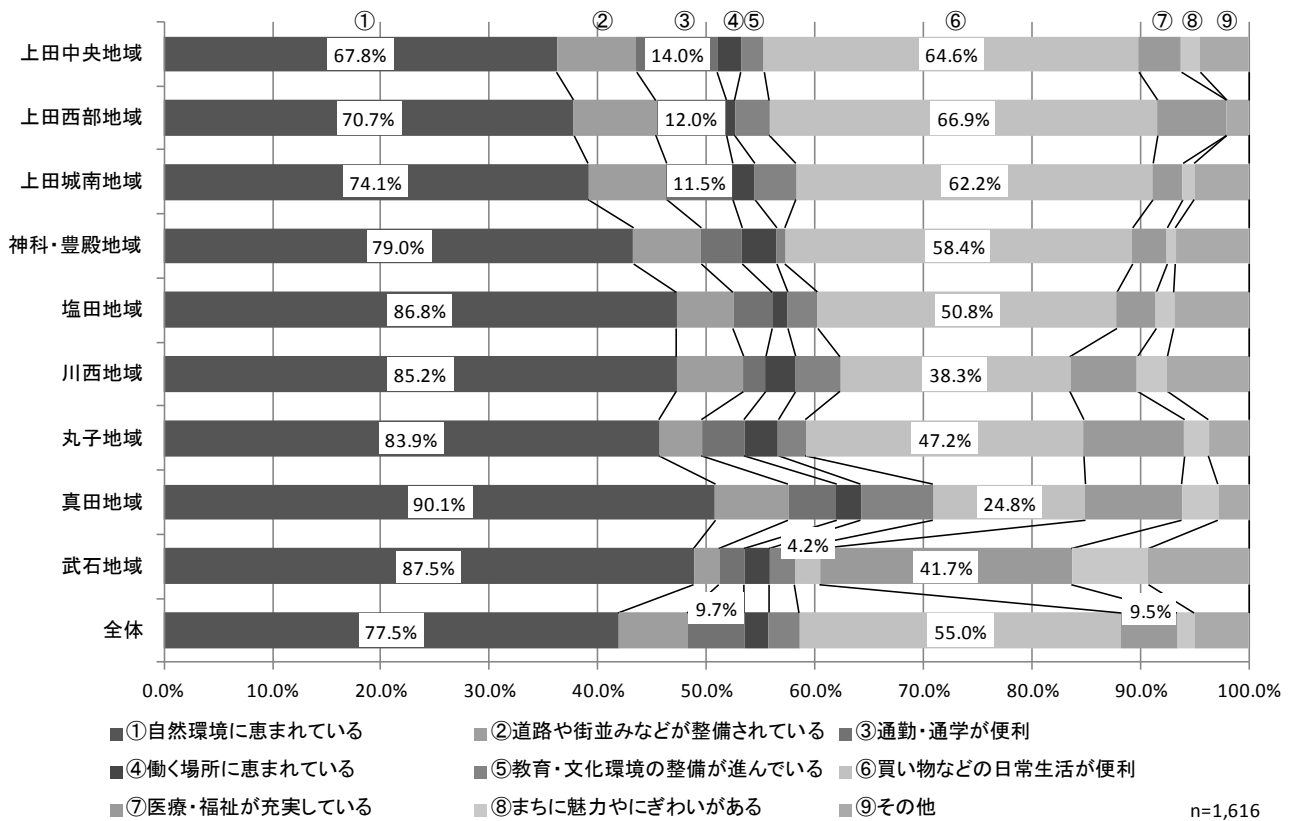
※上記グラフには無回答は掲載していません。

n=1,616

	年代							
	10代	割合	20代	割合	30代・40代	割合	50代	割合
自然環境に恵まれている	10	43.5%	74	69.2%	292	72.8%	221	80.4%
道路や街並みなどが整備されている	8	34.8%	14	13.1%	39	9.7%	25	9.1%
通勤・通学が便利	6	26.1%	13	12.1%	54	13.5%	33	12.0%
働く場所に恵まれている	0	0.0%	6	5.6%	12	3.0%	17	6.2%
教育・文化環境の整備が進んでいる	0	0.0%	5	4.7%	21	5.2%	13	4.7%
買い物などの日常生活が便利	12	52.2%	55	51.4%	246	61.3%	157	57.1%
医療・福祉が充実している	2	8.7%	7	6.5%	7	1.7%	11	4.0%
まちに魅力やにぎわいがある	2	8.7%	10	9.3%	15	3.7%	9	3.3%
その他	1	4.3%	8	7.5%	36	9.0%	34	12.4%

	年代							
	60代	割合	70代以上	割合	無回答	割合	全体	割合
自然環境に恵まれている	285	84.3%	371	78.6%	0	-	1,253	77.5%
道路や街並みなどが整備されている	31	9.2%	73	15.5%	0	-	190	11.8%
通勤・通学が便利	25	7.4%	25	5.3%	0	-	156	9.7%
働く場所に恵まれている	16	4.7%	16	3.4%	0	-	67	4.1%
教育・文化環境の整備が進んでいる	20	5.9%	26	5.5%	0	-	85	5.3%
買い物などの日常生活が便利	201	59.5%	218	46.2%	0	-	889	55.0%
医療・福祉が充実している	24	7.1%	102	21.6%	0	-	153	9.5%
まちに魅力やにぎわいがある	5	1.5%	7	1.5%	0	-	48	3.0%
その他	29	8.6%	41	8.7%	0	-	149	9.2%

< 住みやすいと感じる理由 × 居住地域 >



※上記グラフには無回答は掲載していません。

n=1,616

	居住地域											
	上田中央地域	割合	上田西部地域	割合	上田城南地域	割合	神科・豊殿地域	割合	塩田地域	割合	川西地域	割合
自然環境に恵まれている	257	67.8%	94	70.7%	212	74.1%	173	79.0%	171	86.8%	69	85.2%
道路や街並みなどが整備されている	52	13.7%	19	14.3%	39	13.6%	25	11.4%	19	9.6%	9	11.1%
通勤・通学が便利	53	14.0%	16	12.0%	33	11.5%	15	6.8%	13	6.6%	3	3.7%
働く場所に恵まれている	15	4.0%	2	1.5%	11	3.8%	13	5.9%	5	2.5%	4	4.9%
教育・文化環境の整備が進んでいる	15	4.0%	8	6.0%	21	7.3%	3	1.4%	10	5.1%	6	7.4%
買い物などの日常生活が便利	245	64.6%	89	66.9%	178	62.2%	128	58.4%	100	50.8%	31	38.3%
医療・福祉が充実している	28	7.4%	16	12.0%	15	5.2%	13	5.9%	13	6.6%	9	11.1%
まちに魅力やにぎわいがある	12	3.2%	0	0.0%	6	2.1%	3	1.4%	6	3.0%	4	4.9%
その他	32	8.4%	5	3.8%	27	9.4%	27	12.3%	25	12.7%	11	13.6%

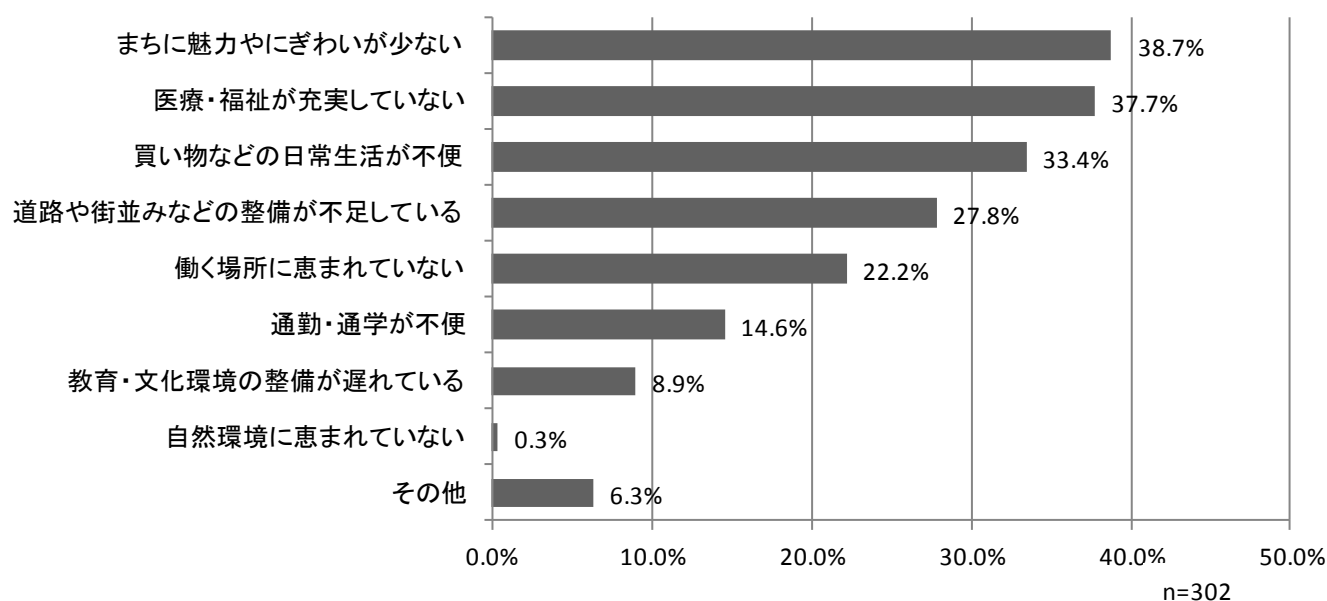
	居住地域									
	丸子地域	割合	真田地域	割合	武石地域	割合	無回答	割合	全体	割合
自然環境に恵まれている	162	83.9%	91	90.1%	21	87.5%	3	100.0%	1,253	77.5%
道路や街並みなどが整備されている	14	7.3%	12	11.9%	1	4.2%	0	0.0%	190	11.8%
通勤・通学が便利	14	7.3%	8	7.9%	1	4.2%	0	0.0%	156	9.7%
働く場所に恵まれている	11	5.7%	4	4.0%	1	4.2%	1	33.3%	67	4.1%
教育・文化環境の整備が進んでいる	9	4.7%	12	11.9%	1	4.2%	0	0.0%	85	5.3%
買い物などの日常生活が便利	91	47.2%	25	24.8%	1	4.2%	1	33.3%	889	55.0%
医療・福祉が充実している	33	17.1%	16	15.8%	10	41.7%	0	0.0%	153	9.5%
まちに魅力やにぎわいがある	8	4.1%	6	5.9%	3	12.5%	0	0.0%	48	3.0%
その他	13	6.7%	5	5.0%	4	16.7%	0	0.0%	149	9.2%

③住みにくいとを感じる理由について（「やや住みにくい」「住みにくい」の計）

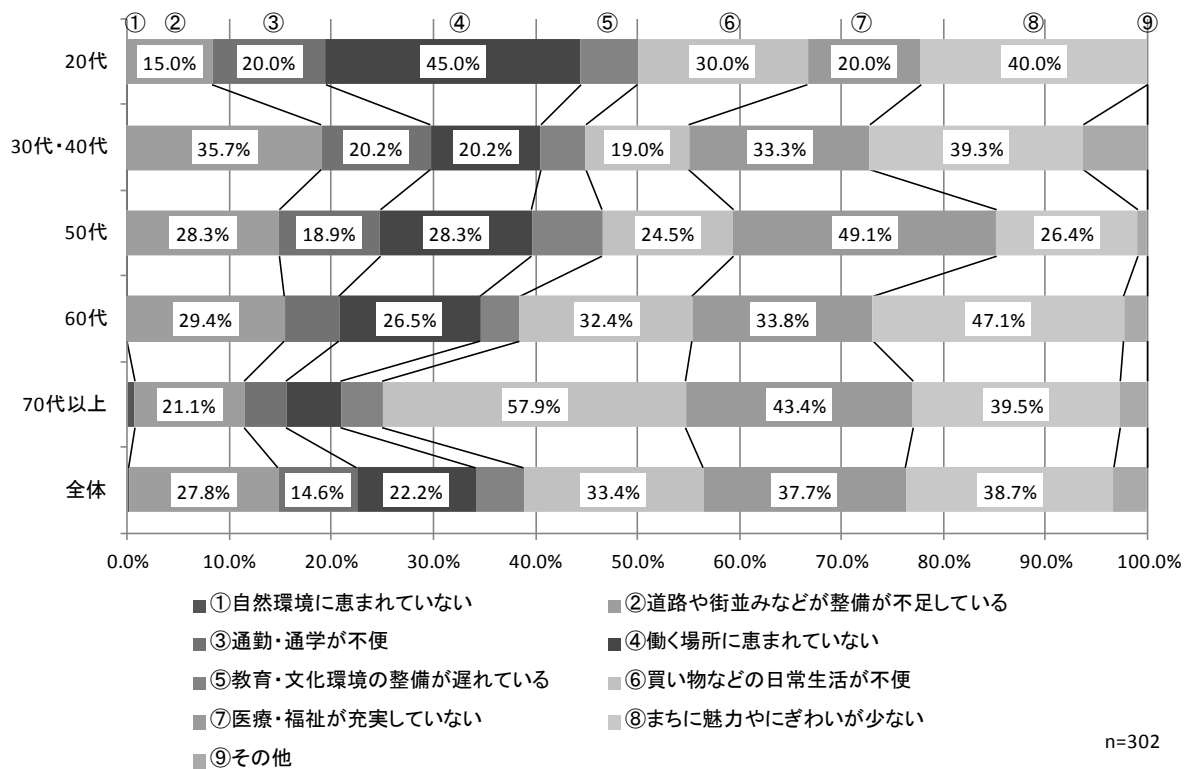
住みにくいとを感じる理由をみると、「まちに魅力やにぎわいが少ない」（38.7%）、「医療・福祉が充実していない」（37.7%）、「買い物などの日常生活が不便」（33.4%）がいずれも3割を超えている。次いで、「道路や街並みなどの整備が不足」（27.8%）、「働く場所に恵まれていない」（22.2%）と続いている。

年代別では、60代が「まちに魅力やにぎわいが少ない」を挙げる割合が高かった。また、「医療・福祉が充実していない」をみると、50代、70代以上で4割を超える回答であった。「買い物などの日常生活が不便」と感じている年代として、70代以上で6割近くが住みにくい理由としている。20代では、5割程が「働く場所に恵まれていない」を挙げている。

居住地域別でみると、丸子地域が「まちに魅力やにぎわいが少ない」で5割を超える回答割合であった。「医療・福祉が充実していない」では、上田西部地域が6割を超える住民が住みにくい理由として挙げている。また、「買い物などの日常生活が不便」を挙げる地域として、武石地域（70.6%）、真田地域（56.7%）が高い傾向となった。



< 住みにくいとを感じる理由 × 年代 >



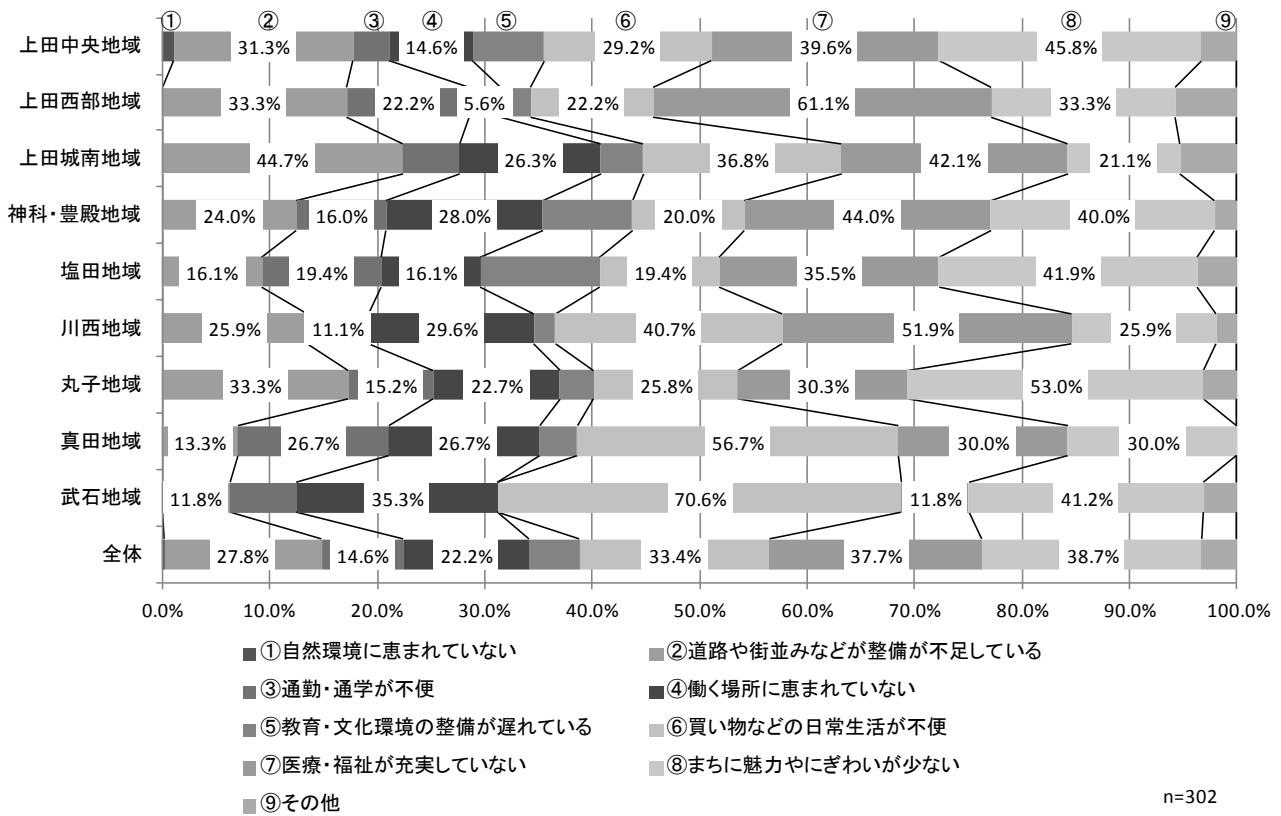
※上記グラフには無回答は掲載していません。

n=302

	年代							
	10代	割合	20代	割合	30代・40代	割合	50代	割合
自然環境に恵まれていない	0	-	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
道路や街並みなどが整備が不足している	0	-	3	15.0%	30	35.7%	15	28.3%
通勤・通学が不便	0	-	4	20.0%	17	20.2%	10	18.9%
働く場所に恵まれていない	0	-	9	45.0%	17	20.2%	15	28.3%
教育・文化環境の整備が遅れている	0	-	2	10.0%	7	8.3%	7	13.2%
買い物などの日常生活が不便	0	-	6	30.0%	16	19.0%	13	24.5%
医療・福祉が充実していない	0	-	4	20.0%	28	33.3%	26	49.1%
まちに魅力やにぎわいが少ない	0	-	8	40.0%	33	39.3%	14	26.4%
その他	0	-	0	0.0%	10	11.9%	1	1.9%

	年代							
	60代	割合	70代以上	割合	無回答	割合	全体	割合
自然環境に恵まれていない	0	0.0%	1	1.3%	0	0.0%	1	0.3%
道路や街並みなどが整備が不足している	20	29.4%	16	21.1%	0	0.0%	84	27.8%
通勤・通学が不便	7	10.3%	6	7.9%	0	0.0%	44	14.6%
働く場所に恵まれていない	18	26.5%	8	10.5%	0	0.0%	67	22.2%
教育・文化環境の整備が遅れている	5	7.4%	6	7.9%	0	0.0%	27	8.9%
買い物などの日常生活が不便	22	32.4%	44	57.9%	0	0.0%	101	33.4%
医療・福祉が充実していない	23	33.8%	33	43.4%	0	0.0%	114	37.7%
まちに魅力やにぎわいが少ない	32	47.1%	30	39.5%	0	0.0%	117	38.7%
その他	3	4.4%	4	5.3%	1	100.0%	19	6.3%

< 住みにくいと感じる理由 × 居住地域 >



n=302

※上記グラフには無回答は掲載していません。

n=302

	居住地域											
	上田中央地域	割合	上田西部地域	割合	上田城南地域	割合	神科・豊殿地域	割合	塩田地域	割合	川西地域	割合
自然環境に恵まれていない	1	2.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
道路や街並みなどが整備が不足している	15	31.3%	6	33.3%	17	44.7%	6	24.0%	5	16.1%	7	25.9%
通勤・通学が不便	3	6.3%	4	22.2%	4	10.5%	4	16.0%	6	19.4%	3	11.1%
働く場所に恵まれていない	7	14.6%	1	5.6%	10	26.3%	7	28.0%	5	16.1%	8	29.6%
教育・文化環境の整備が遅れている	6	12.5%	1	5.6%	3	7.9%	4	16.0%	6	19.4%	1	3.7%
買い物などの日常生活が不便	14	29.2%	4	22.2%	14	36.8%	5	20.0%	6	19.4%	11	40.7%
医療・福祉が充実していない	19	39.6%	11	61.1%	16	42.1%	11	44.0%	11	35.5%	14	51.9%
まちに魅力やにぎわいが少ない	22	45.8%	6	33.3%	8	21.1%	10	40.0%	13	41.9%	7	25.9%
その他	3	6.3%	2	11.1%	4	10.5%	1	4.0%	2	6.5%	1	3.7%

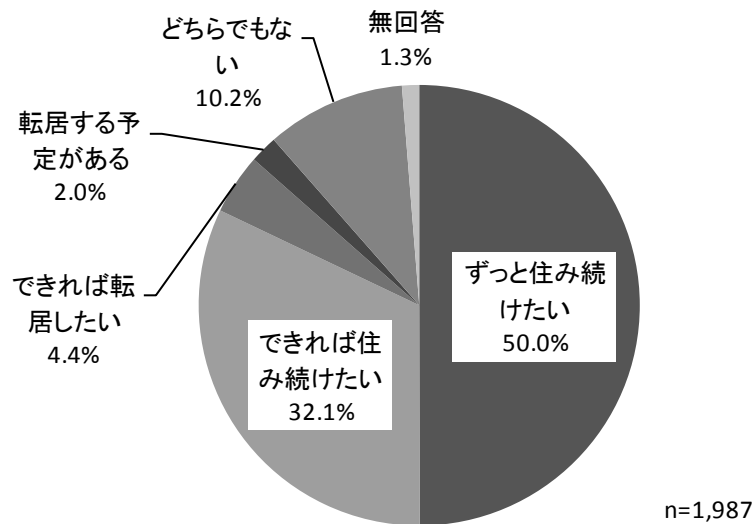
	居住地域									
	丸子地域	割合	真田地域	割合	武石地域	割合	無回答	割合	全体	割合
自然環境に恵まれていない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.3%
道路や街並みなどが整備が不足している	22	33.3%	4	13.3%	2	11.8%	0	0.0%	84	27.8%
通勤・通学が不便	10	15.2%	8	26.7%	2	11.8%	0	0.0%	44	14.6%
働く場所に恵まれていない	15	22.7%	8	26.7%	6	35.3%	0	0.0%	67	22.2%
教育・文化環境の整備が遅れている	4	6.1%	2	6.7%	0	0.0%	0	0.0%	27	8.9%
買い物などの日常生活が不便	17	25.8%	17	56.7%	12	70.6%	1	50.0%	101	33.4%
医療・福祉が充実していない	20	30.3%	9	30.0%	2	11.8%	1	50.0%	114	37.7%
まちに魅力やにぎわいが少ない	35	53.0%	9	30.0%	7	41.2%	0	0.0%	117	38.7%
その他	4	6.1%	0	0.0%	1	5.9%	1	50.0%	19	6.3%

④今後も上田市に住み続けたいですか

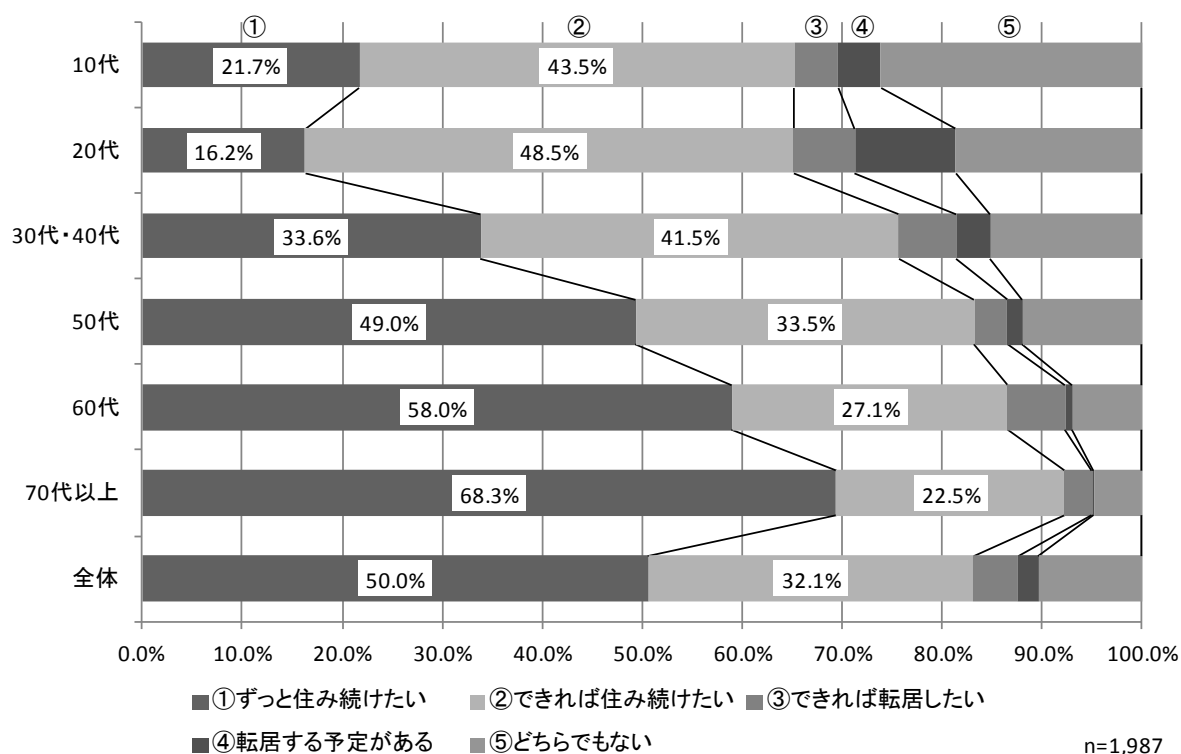
上田市に今後も住み続けたいかと尋ねた設問では、「ずっと住み続けたい」、「できれば住み続けたい」を合算すると、8割を超える住民が今後も住み続けたいと考えている。

年代別で見ると、10代、20代では住み続けたいと考える割合が6割程で、他の年代に比べ、低い結果となった。年代が上がるにつれて住み続けたいと回答する割合が高くなっている。

居住地域別では、「ずっと住み続けたい」、「できれば住み続けたい」を合算すると、川西地域(75.2%)を除き、どの地域も8割程の回答割合となっている。



< 今後も上田市に住み続けたいか ×年代 >



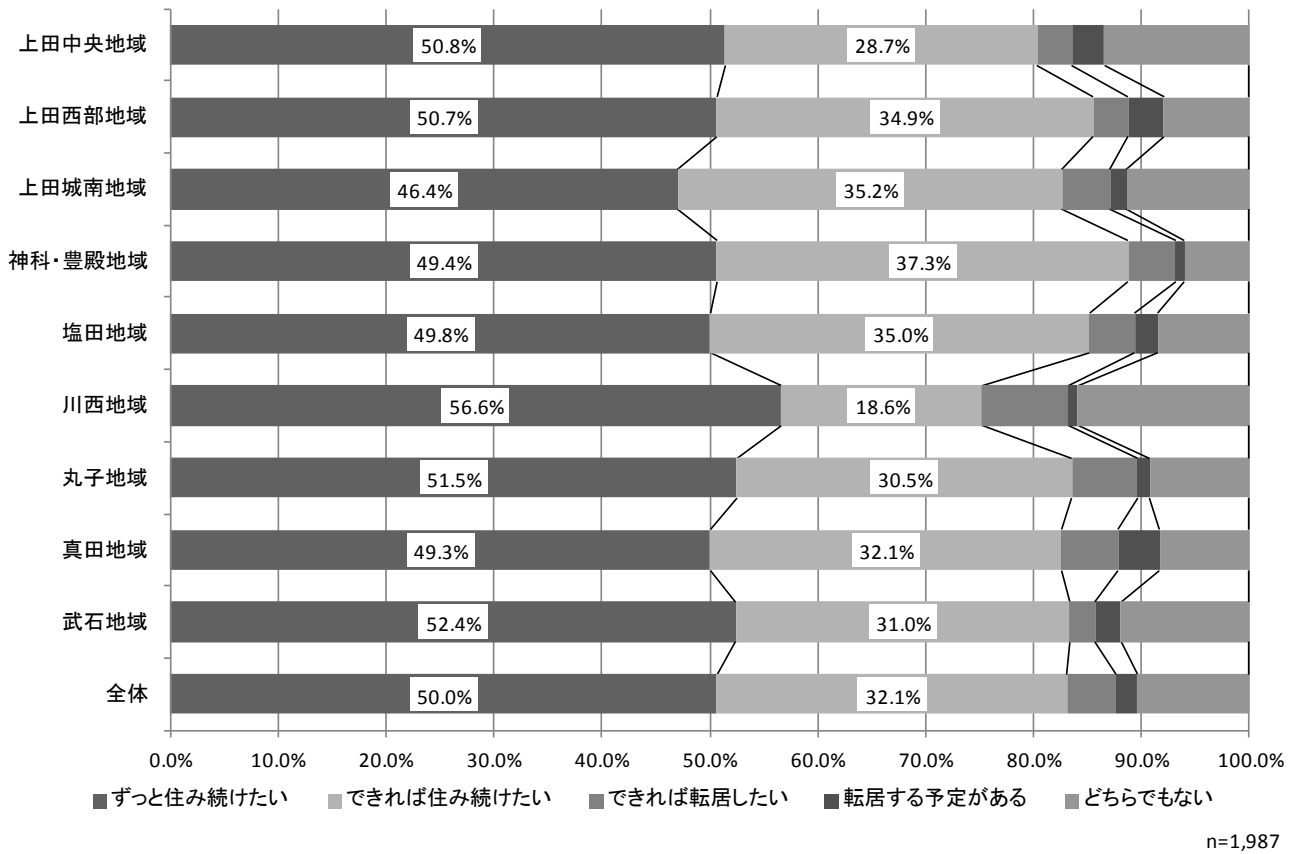
※上記グラフには無回答は掲載していません。

n=1,987

	年代							
	10代	割合	20代	割合	30代・40代	割合	50代	割合
ずっと住み続けたい	5	21.7%	21	16.2%	170	33.6%	165	49.0%
できれば住み続けたい	10	43.5%	63	48.5%	210	41.5%	113	33.5%
できれば転居したい	1	4.3%	8	6.2%	29	5.7%	11	3.3%
転居する予定がある	1	4.3%	13	10.0%	17	3.4%	5	1.5%
どちらでもない	6	26.1%	24	18.5%	76	15.0%	40	11.9%
無回答	0	0.0%	1	0.8%	4	0.8%	3	0.9%
合計	23	100.0%	130	100.0%	506	100.0%	337	100.0%

	年代							
	60代	割合	70代以上	割合	無回答	割合	全体	割合
ずっと住み続けたい	246	58.0%	386	68.3%	0	0.0%	993	50.0%
できれば住み続けたい	115	27.1%	127	22.5%	0	0.0%	638	32.1%
できれば転居したい	24	5.7%	15	2.7%	0	0.0%	88	4.4%
転居する予定がある	3	0.7%	1	0.2%	0	0.0%	40	2.0%
どちらでもない	29	6.8%	27	4.8%	1	50.0%	203	10.2%
無回答	7	1.7%	9	1.6%	1	50.0%	25	1.3%
合計	424	100.0%	565	100.0%	2	100.0%	1,987	100.0%

< 今後も上田市に住み続けたいか × 居住地域 >



※上記グラフには無回答は掲載していません。

n=1,987

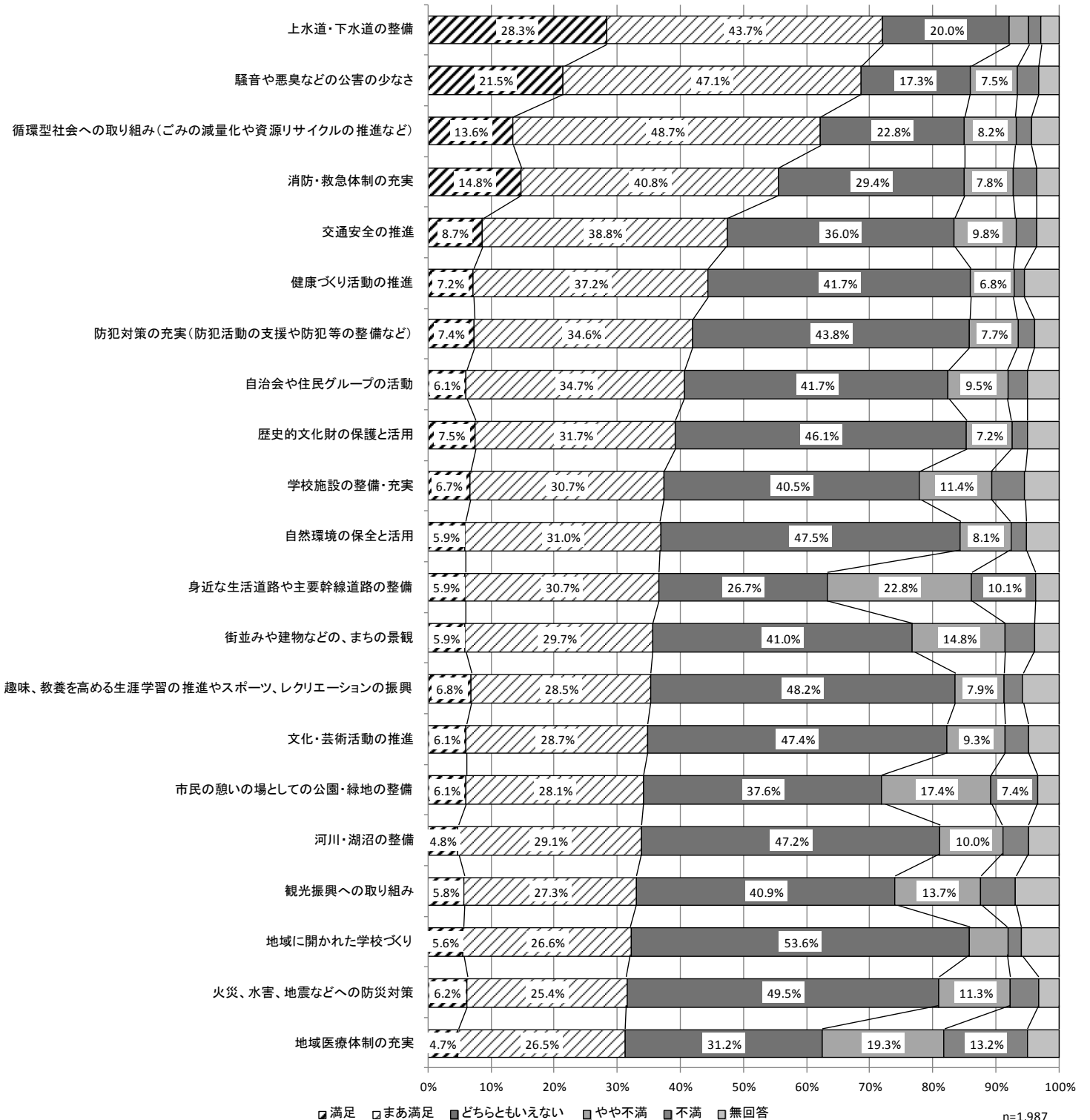
	居住地域											
	上田中央地域	割合	上田西部地域	割合	上田城南地域	割合	神科・豊殿地域	割合	塩田地域	割合	川西地域	割合
ずっと住み続けたい	225	50.8%	77	50.7%	157	46.4%	126	49.4%	118	49.8%	64	56.6%
できれば住み続けたい	127	28.7%	53	34.9%	119	35.2%	95	37.3%	83	35.0%	21	18.6%
できれば転居したい	14	3.2%	5	3.3%	15	4.4%	11	4.3%	10	4.2%	9	8.0%
転居する予定がある	13	2.9%	5	3.3%	5	1.5%	2	0.8%	5	2.1%	1	0.9%
どちらでもない	59	13.3%	12	7.9%	38	11.2%	15	5.9%	20	8.4%	18	15.9%
無回答	5	1.1%	0	0.0%	4	1.2%	6	2.4%	1	0.4%	0	0.0%
合計	443	100.0%	152	100.0%	338	100.0%	255	100.0%	237	100.0%	113	100.0%

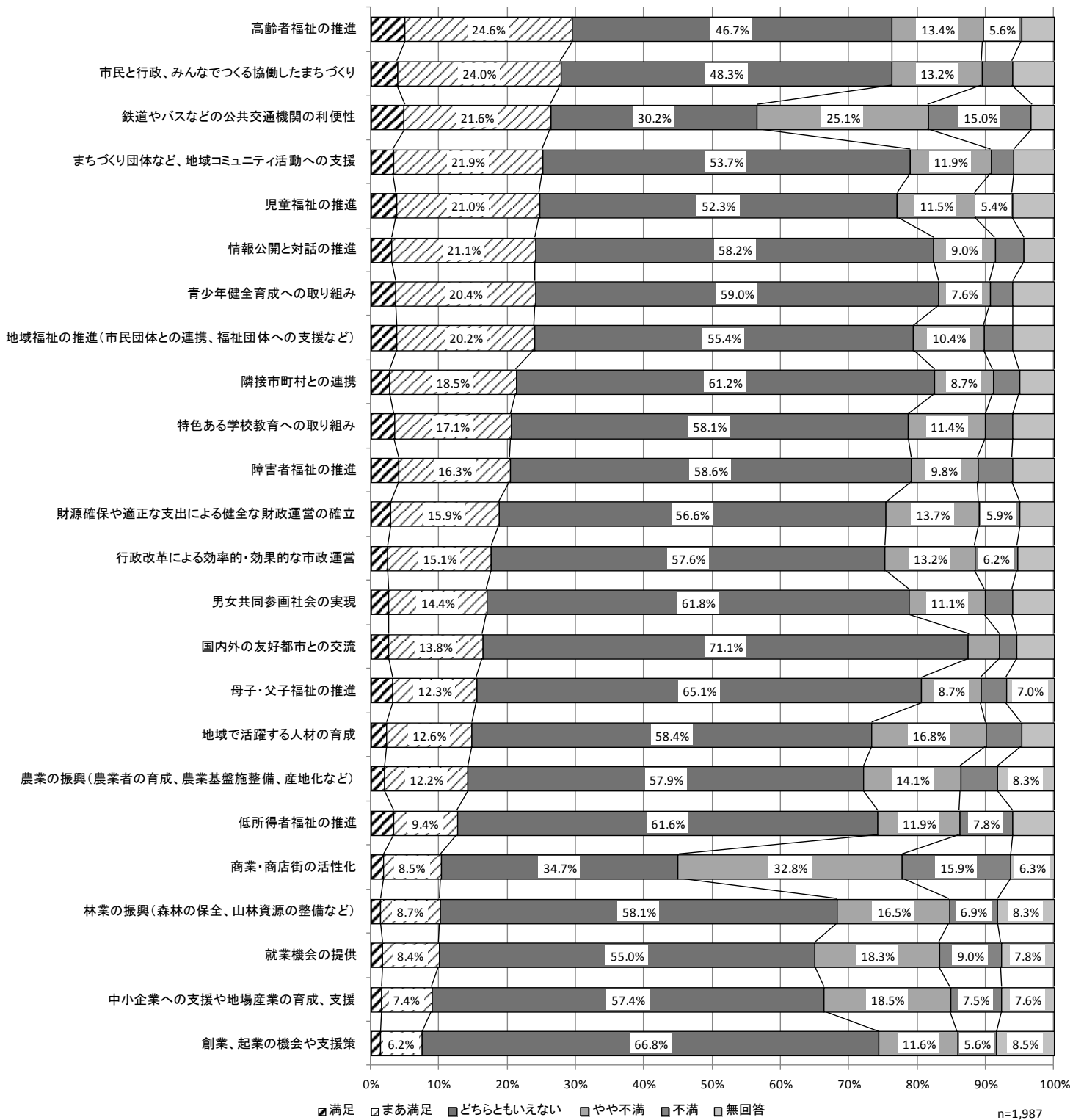
	居住地域									
	丸子地域	割合	真田地域	割合	武石地域	割合	無回答	割合	全体	割合
ずっと住み続けたい	137	51.5%	66	49.3%	22	52.4%	1	14.3%	993	50.0%
できれば住み続けたい	81	30.5%	43	32.1%	13	31.0%	3	42.9%	638	32.1%
できれば転居したい	16	6.0%	7	5.2%	1	2.4%	0	0.0%	88	4.4%
転居する予定がある	3	1.1%	5	3.7%	1	2.4%	0	0.0%	40	2.0%
どちらでもない	24	9.0%	11	8.2%	5	11.9%	1	14.3%	203	10.2%
無回答	5	1.9%	2	1.5%	0	0.0%	2	28.6%	25	1.3%
合計	266	100.0%	134	100.0%	42	100.0%	7	100.0%	1,987	100.0%

(3) 市の全般的な施策や事業等に対する評価

①市の施策に対する満足度

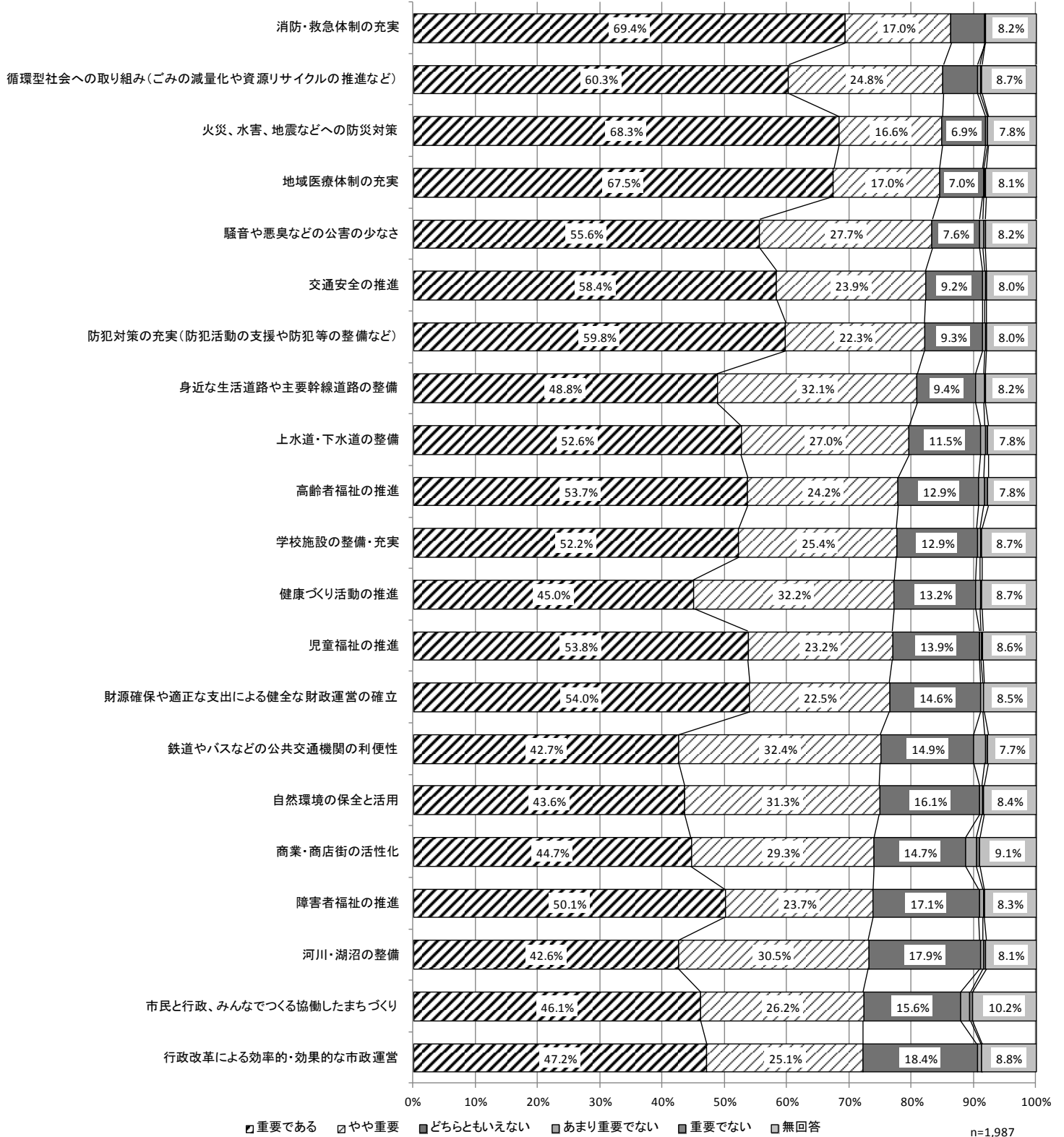
「満足」、「まあ満足」を合算すると、上下水道の整備や騒音の少なさ、循環型社会への取り組みなど生活環境における施策については、6割を超える住民が満足と感じている。一方、創業・起業支援（7.6%）や中小企業への支援（9.0%）、就業機会の提供（10.1%）など産業や雇用支援の面では1割程にとどまった。

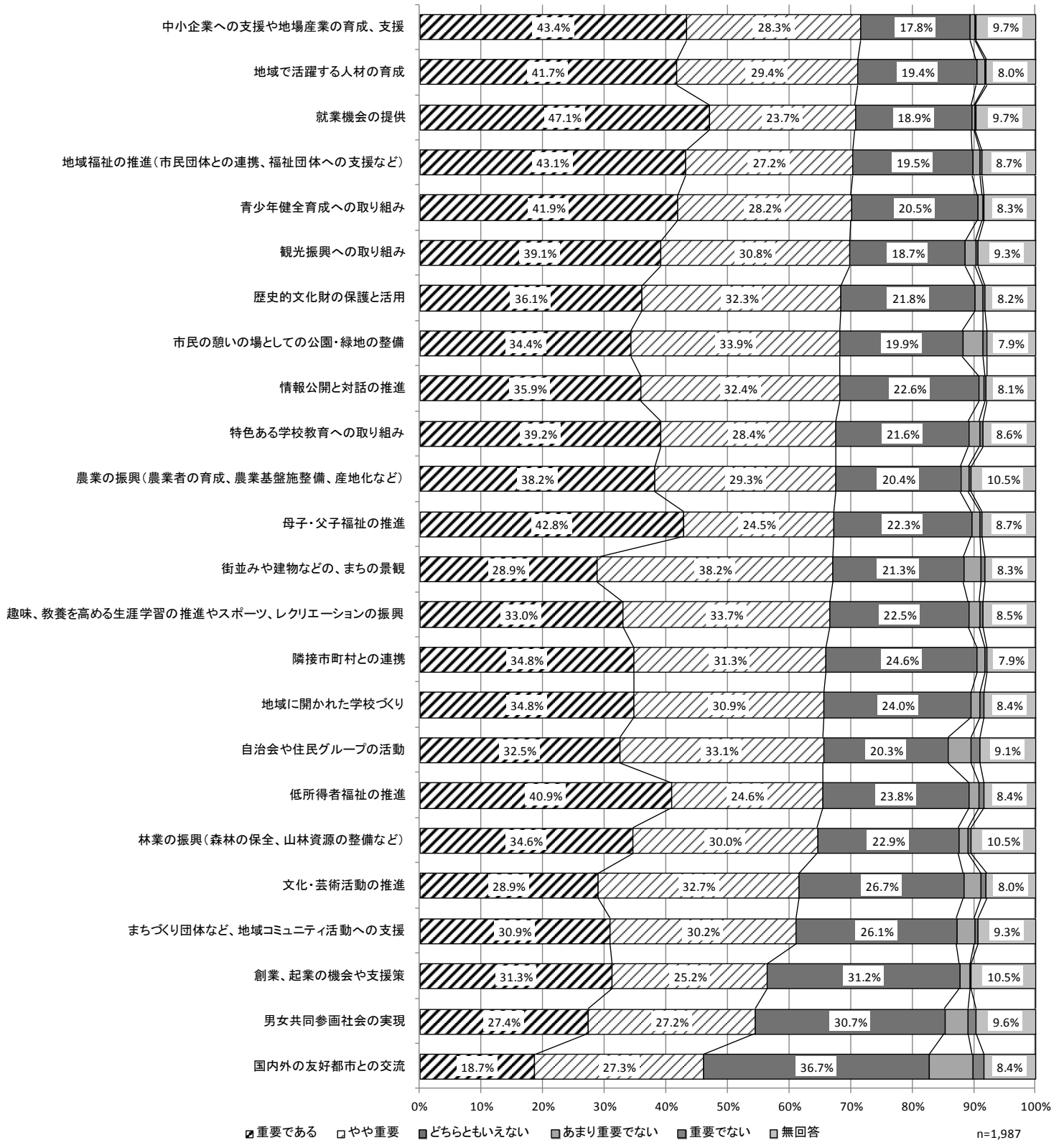




②市の施策に対する重要度

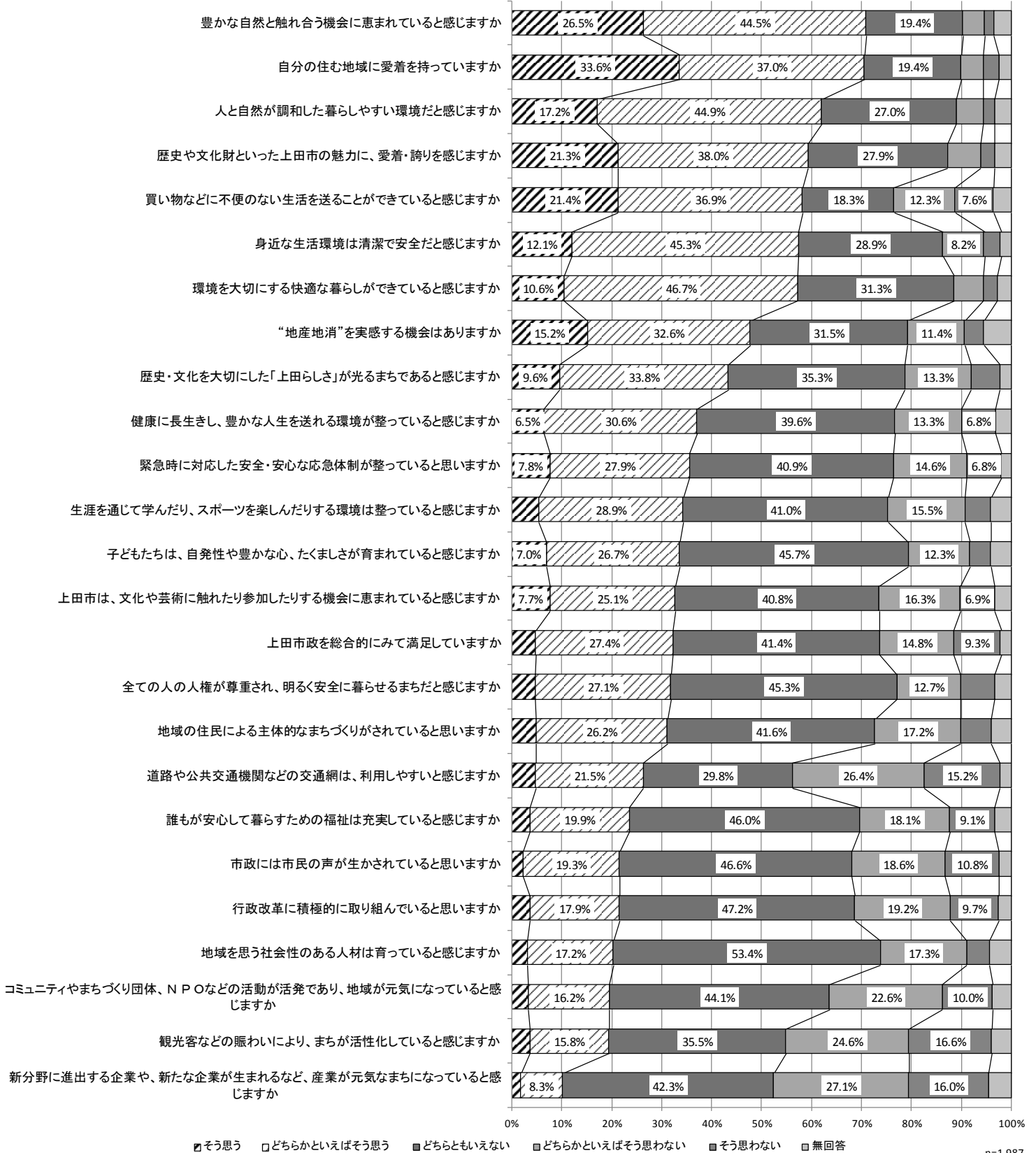
「重要」、「やや重要」を合算してみると、消防・救急体制の充実、地域医療体制の構築など9割近くが重要と回答している。一方、「国内外の友好都市との交流」(46.0%)、「男女共同参画社会の実現」(54.6%)、「創業、起業の機会や支援策」(56.5%)などは低い結果となった。





③総合的な評価（幸福度）

総合的な評価として、「豊かな自然との触れ合う機会」や、「自分の住む地域への愛着」、「人の自然が調和した暮らしやすさ」で回答割合が高かった。一方、企業支援をはじめとする産業振興や観光客などの賑わいによるまちの活性化などに対する評価で低い結果となった。



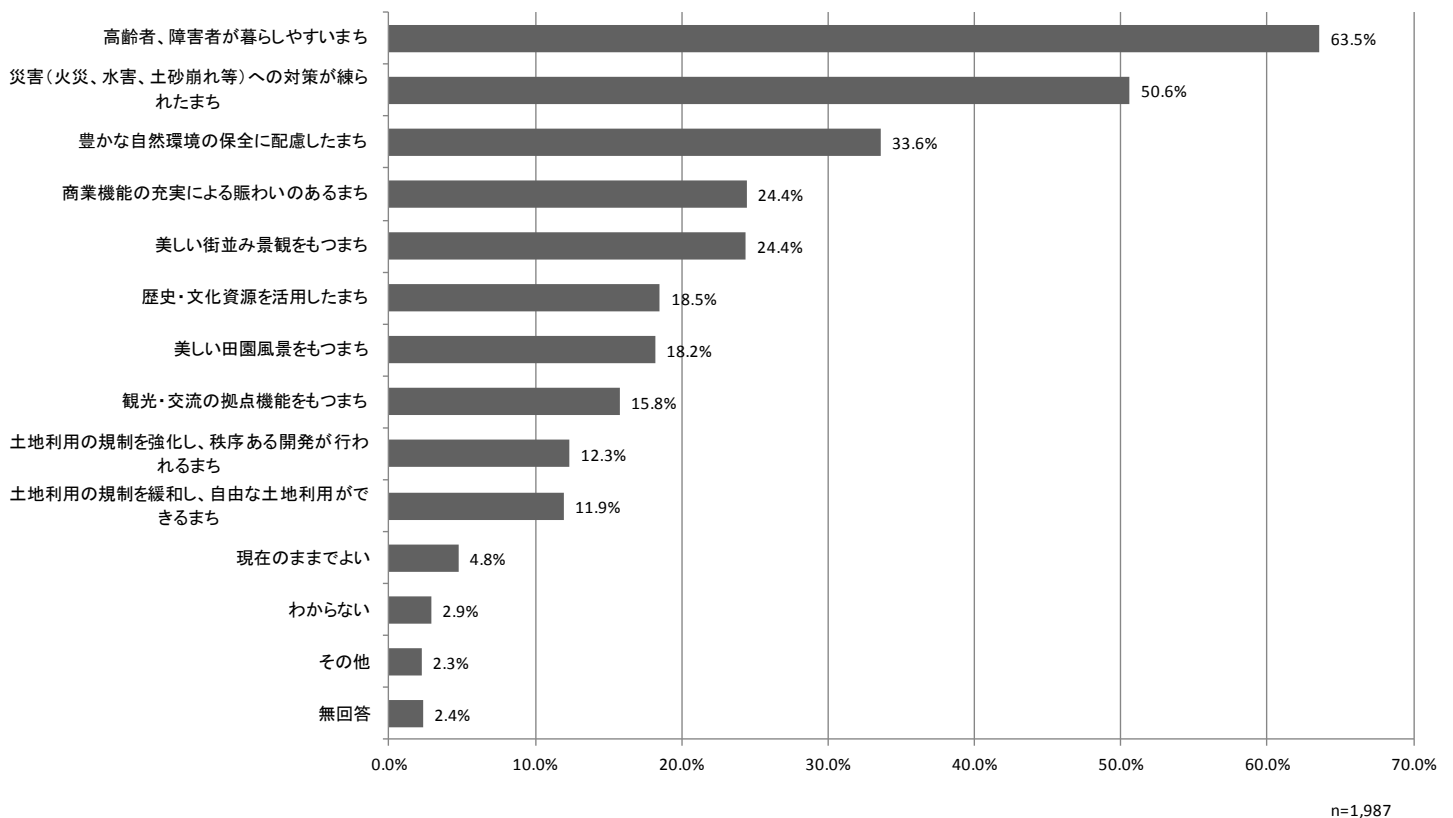
(4) 土地利用に対する住民の意向について

①将来、どのような地域になることを希望するか

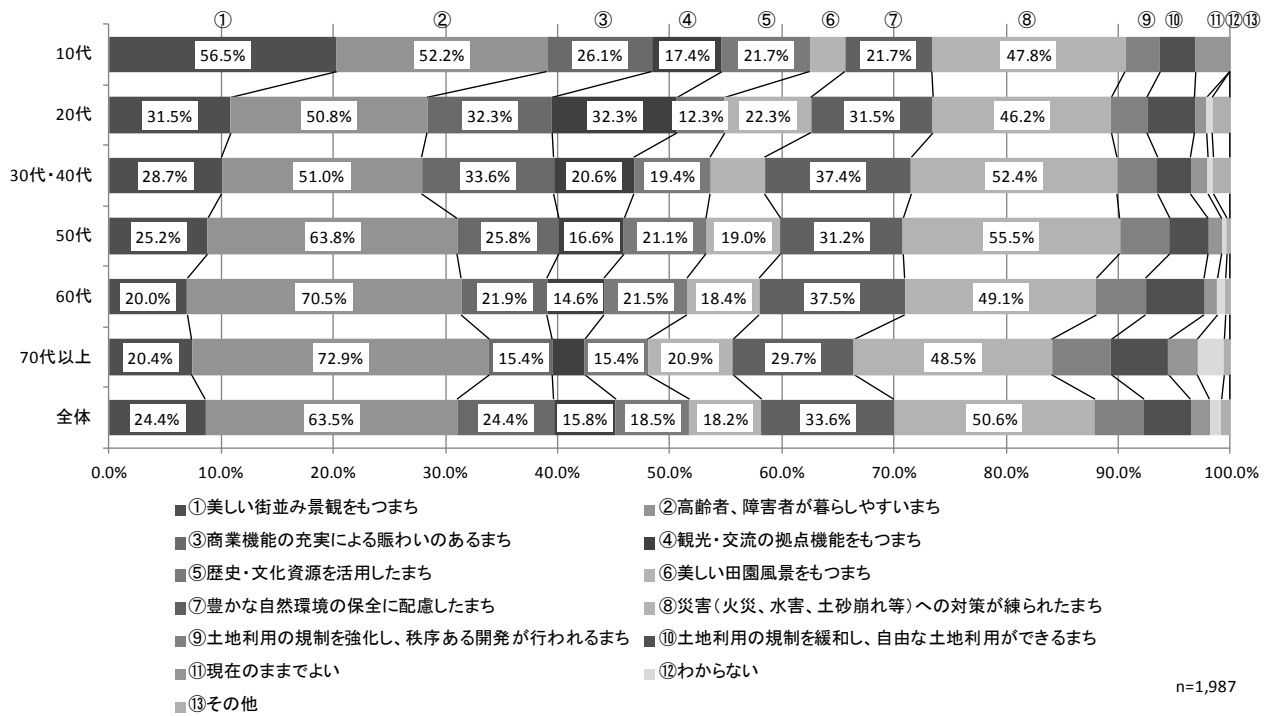
住民が考える将来の地域の姿として、「高齢者、障害者が暮らしやすいまち」が63.5%と最も回答が多かった。次いで、「災害（火災、水害、土砂崩れ等）への対策が練られたまち」が50.6%と半数の住民が希望している。

年代別でみると、60代、70代以上で「高齢者、障害者が暮らしやすいまち」を挙げた割合が7割を超えている。一方、30・40代以下では、「商業機能の充実による賑わいのあるまち」、「観光・交流の拠点機能を持つまち」で回答割合が高い傾向となっている。また、10代では「美しい街並み景観をもつまち」が56.5%と最も回答割合が高かった。

地域別では、武石地域が、「高齢者、障害者が暮らしやすいまち」（78.6%）、「土地利用の規制緩和し、自由な土地利用ができるまち」（26.2%）で他地域と比べ回答が多かった。また、上田中央地域では、「美しい街並み景観をもつまち」（30.2%）、「商業機能の充実による賑わいのあるまち」（36.8%）が他地域と比べ回答割合が高かった。



< 将来どんな地域になったらよいと思うか × 年代 >



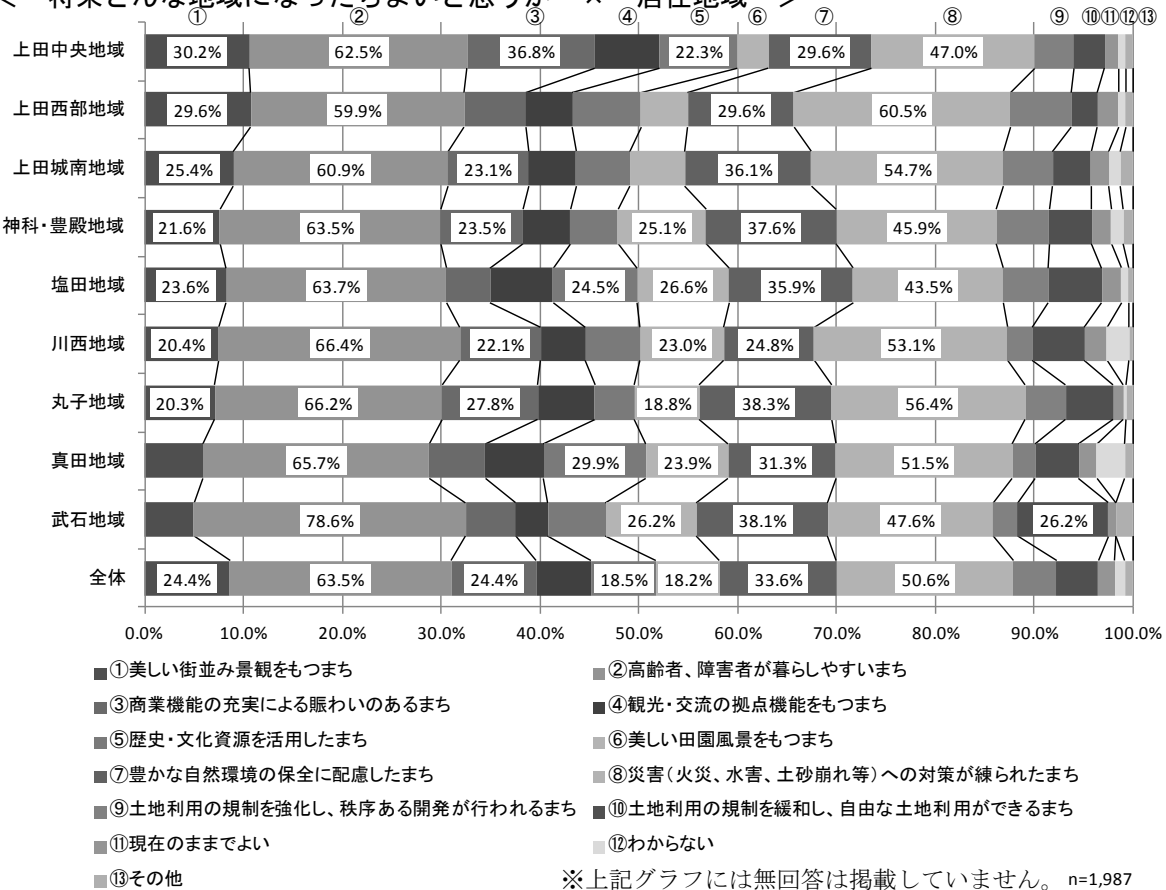
※上記グラフには無回答は掲載していません。

n=1,987

	年代							
	10代	割合	20代	割合	30代・40代	割合	50代	割合
美しい街並み景観をもつまち	13	56.5%	41	31.5%	145	28.7%	85	25.2%
高齢者、障害者が暮らしやすいまち	12	52.2%	66	50.8%	258	51.0%	215	63.8%
商業機能の充実による賑わいのあるまち	6	26.1%	42	32.3%	170	33.6%	87	25.8%
観光・交流の拠点機能をもつまち	4	17.4%	42	32.3%	104	20.6%	56	16.6%
歴史・文化資源を活用したまち	5	21.7%	16	12.3%	98	19.4%	71	21.1%
美しい田園風景をもつまち	2	8.7%	29	22.3%	70	13.8%	64	19.0%
豊かな自然環境の保全に配慮したまち	5	21.7%	41	31.5%	189	37.4%	105	31.2%
災害(火災、水害、土砂崩れ等)への対策が練られたまち	11	47.8%	60	46.2%	265	52.4%	187	55.5%
土地利用の規制を強化し、秩序ある開発が行われるまち	2	8.7%	12	9.2%	52	10.3%	43	12.8%
土地利用の規制を緩和し、自由な土地利用ができるまち	2	8.7%	16	12.3%	43	8.5%	33	9.8%
現在のままでよい	2	8.7%	4	3.1%	22	4.3%	12	3.6%
わからない	0	0.0%	2	1.5%	7	1.4%	4	1.2%
その他	0	0.0%	6	4.6%	22	4.3%	3	0.9%

	年代							
	60代	割合	70代以上	割合	無回答	割合	全体	割合
美しい街並み景観をもつまち	85	20.0%	115	20.4%	0	0.0%	484	24.4%
高齢者、障害者が暮らしやすいまち	299	70.5%	412	72.9%	0	0.0%	1,262	63.5%
商業機能の充実による賑わいのあるまち	93	21.9%	87	15.4%	0	0.0%	485	24.4%
観光・交流の拠点機能をもつまち	62	14.6%	45	8.0%	0	0.0%	313	15.8%
歴史・文化資源を活用したまち	91	21.5%	87	15.4%	0	0.0%	368	18.5%
美しい田園風景をもつまち	78	18.4%	118	20.9%	0	0.0%	361	18.2%
豊かな自然環境の保全に配慮したまち	159	37.5%	168	29.7%	0	0.0%	667	33.6%
災害(火災、水害、土砂崩れ等)への対策が練られたまち	208	49.1%	274	48.5%	0	0.0%	1,005	50.6%
土地利用の規制を強化し、秩序ある開発が行われるまち	54	12.7%	82	14.5%	0	0.0%	245	12.3%
土地利用の規制を緩和し、自由な土地利用ができるまち	64	15.1%	79	14.0%	0	0.0%	237	11.9%
現在のままでよい	14	3.3%	41	7.3%	0	0.0%	95	4.8%
わからない	9	2.1%	36	6.4%	0	0.0%	58	2.9%
その他	5	1.2%	9	1.6%	0	0.0%	45	2.3%

< 将来どんな地域になったらよいと思うか × 居住地域 >



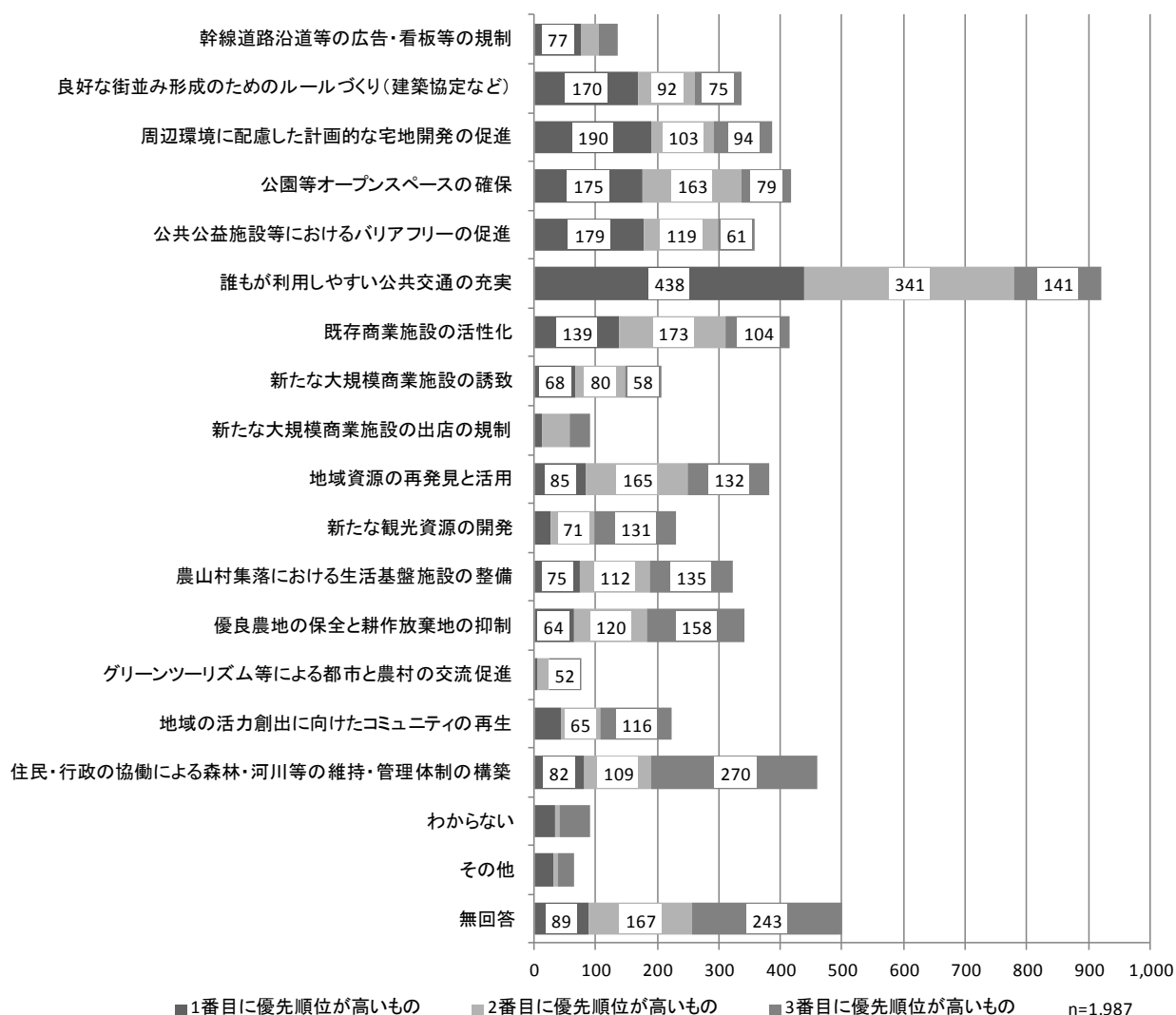
	居住地域											
	上田中央地域	割合	上田西部地域	割合	上田城南地域	割合	神科・豊殿地域	割合	塩田地域	割合	川西地域	割合
美しい街並み景観をもつまち	134	30.2%	45	29.6%	86	25.4%	55	21.6%	56	23.6%	23	20.4%
高齢者、障害者が暮らしやすいまち	277	62.5%	91	59.9%	206	60.9%	162	63.5%	151	63.7%	75	66.4%
商業機能の充実による賑わいのあるまち	163	36.8%	26	17.1%	78	23.1%	60	23.5%	30	12.7%	25	22.1%
観光・交流の拠点機能をもつまち	83	18.7%	20	13.2%	46	13.6%	35	13.7%	43	18.1%	14	12.4%
歴史・文化資源を活用したまち	99	22.3%	29	19.1%	52	15.4%	35	13.7%	58	24.5%	17	15.0%
美しい田園風景をもつまち	40	9.0%	20	13.2%	53	15.7%	64	25.1%	63	26.6%	26	23.0%
豊かな自然環境の保全に配慮したまち	131	29.6%	45	29.6%	122	36.1%	96	37.6%	85	35.9%	28	24.8%
災害(火災、水害、土砂崩れ等)への対策が練られたまち	208	47.0%	92	60.5%	185	54.7%	117	45.9%	103	43.5%	60	53.1%
土地利用の規制を強化し、秩序ある開発が行われるまち	50	11.3%	26	17.1%	48	14.2%	39	15.3%	31	13.1%	8	7.1%
土地利用の規制を緩和し、自由な土地利用ができるまち	39	8.8%	11	7.2%	37	10.9%	31	12.2%	37	15.6%	16	14.2%
現在のままでよい	18	4.1%	9	5.9%	17	5.0%	14	5.5%	13	5.5%	7	6.2%
わからない	9	2.0%	3	2.0%	11	3.3%	9	3.5%	5	2.1%	7	6.2%
その他	9	2.0%	3	2.0%	12	3.6%	7	2.7%	3	1.3%	1	0.9%

	居住地域									
	丸子地域	割合	真田地域	割合	武石地域	割合	無回答	割合	全体	割合
美しい街並み景観をもつまち	54	20.3%	23	17.2%	6	14.3%	2	28.6%	484	24.4%
高齢者、障害者が暮らしやすいまち	176	66.2%	88	65.7%	33	78.6%	3	42.9%	1,262	63.5%
商業機能の充実による賑わいのあるまち	74	27.8%	22	16.4%	6	14.3%	1	14.3%	485	24.4%
観光・交流の拠点機能をもつまち	44	16.5%	23	17.2%	4	9.5%	1	14.3%	313	15.8%
歴史・文化資源を活用したまち	31	11.7%	40	29.9%	7	16.7%	0	0.0%	368	18.5%
美しい田園風景をもつまち	50	18.8%	32	23.9%	11	26.2%	2	28.6%	361	18.2%
豊かな自然環境の保全に配慮したまち	102	38.3%	42	31.3%	16	38.1%	0	0.0%	667	33.6%
災害(火災、水害、土砂崩れ等)への対策が練られたまち	150	56.4%	69	51.5%	20	47.6%	1	14.3%	1,005	50.6%
土地利用の規制を強化し、秩序ある開発が行われるまち	31	11.7%	9	6.7%	3	7.1%	0	0.0%	245	12.3%
土地利用の規制を緩和し、自由な土地利用ができるまち	37	13.9%	17	12.7%	11	26.2%	1	14.3%	237	11.9%
現在のままでよい	8	3.0%	7	5.2%	1	2.4%	1	14.3%	95	4.8%
わからない	2	0.8%	11	8.2%	0	0.0%	1	14.3%	58	2.9%
その他	5	1.9%	3	2.2%	2	4.8%	0	0.0%	45	2.3%

②将来、望むまちになるために、必要となる取り組みについて

将来、望むまちになるための取り組みとして、「誰もが利用しやすい公共交通の充実」(438名)が最も多くの住民が1番目に優先順位が高い取り組みとしている。次いで、優先順位を1番目と考える取り組みとして、「周辺環境に配慮した計画的な宅地開発の促進」(190名)、「公共公益施設等におけるバリアフリーの促進」(179名)、「公園等オープンスペースの確保」(175名)と続いている。

一方、「グリーンツーリズム等による都市と農村の交流促進」(6名)や、「新たな大規模商業施設の出店の規制」(14名)などでは1番目とする回答者が少なかった。

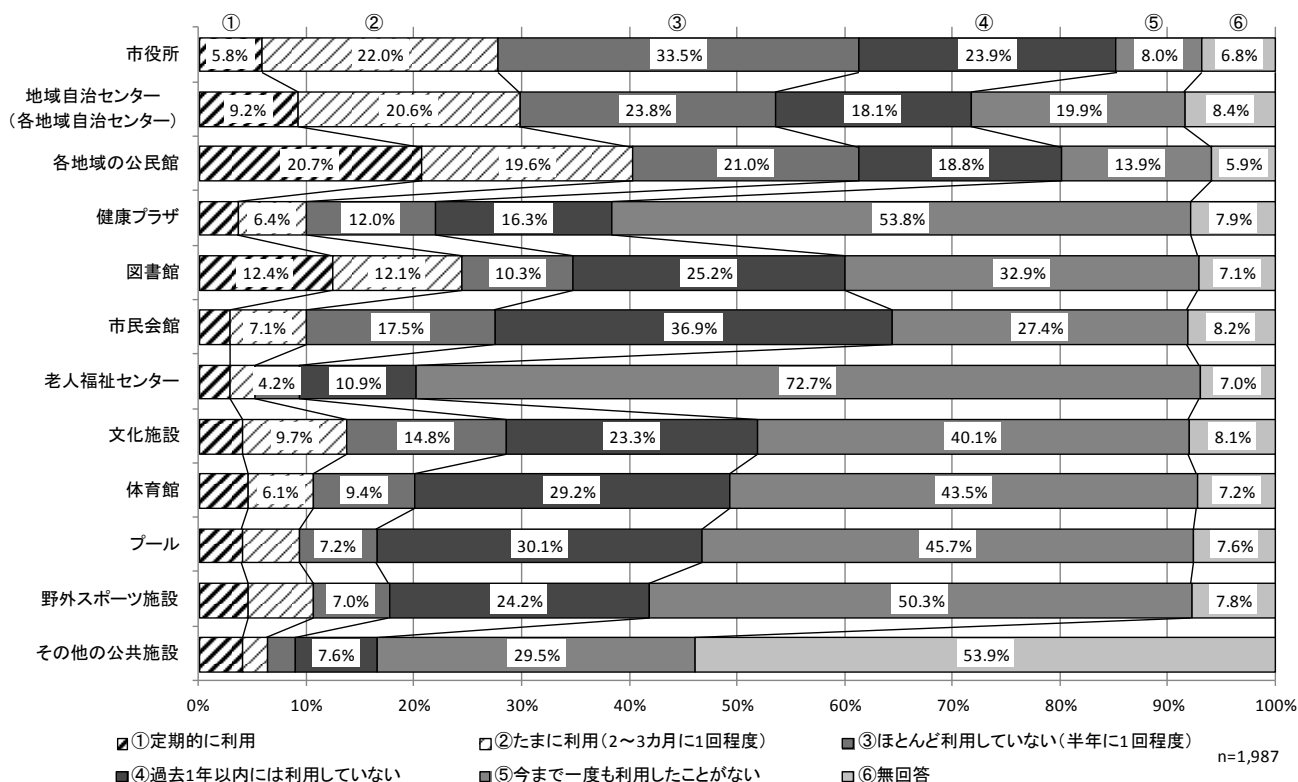


(5) 今後の公共施設のあり方について

①市内公共施設の利用頻度について

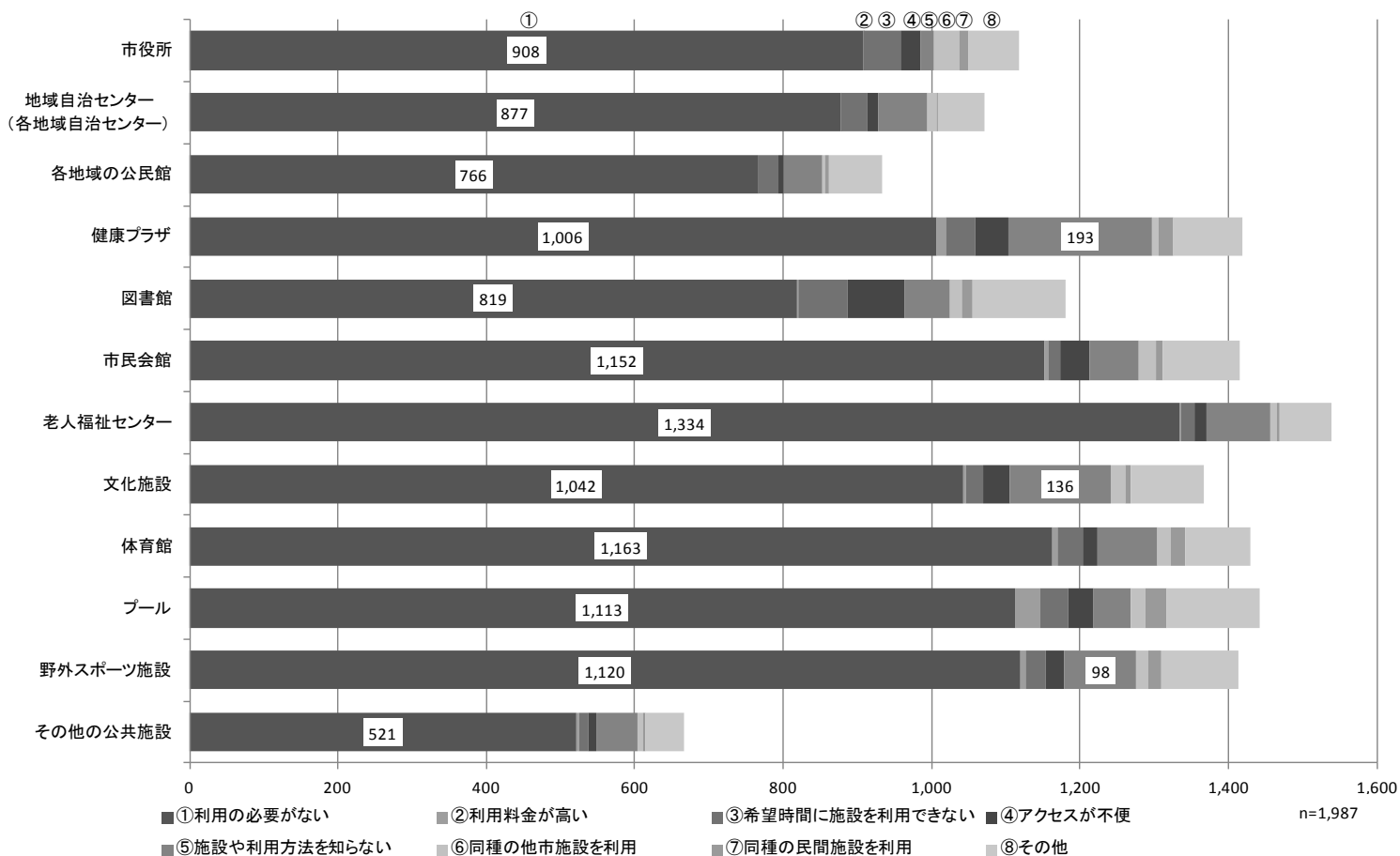
市内の公共施設の利用頻度では、「定期的にご利用」と「たまにご利用」を合算した回答割合で見ると、「各地域の公民館」が40.3%と最も回答割合が高かった。次いで、「地域自治センター」(29.8%)、「市役所」(27.8%)と続いている。

一方、「健康プラザ」(10.0%)、「市民会館」(10.0%)などのほか、「プール」(9.3%)や「体育館」(10.7%)などスポーツ施設等の利用頻度が低かった。



②市内の各公共施設を利用していない理由について

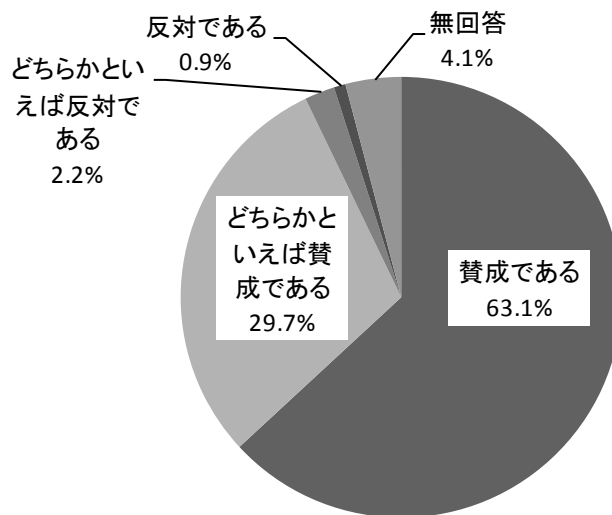
市内の各公共施設を利用しない理由として、いずれの施設でも「利用の必要がない」を挙げる住民が多かった。「健康プラザ」や「文化施設」、「野外スポーツ施設」では「施設の利用方法を知らない」を利用していない理由とする回答もみられた。こうした施設について、利用方法の周知を図ることで利用者が増加する可能性がある。



③公共施設の再編・再配置、長寿命化に対する意向について

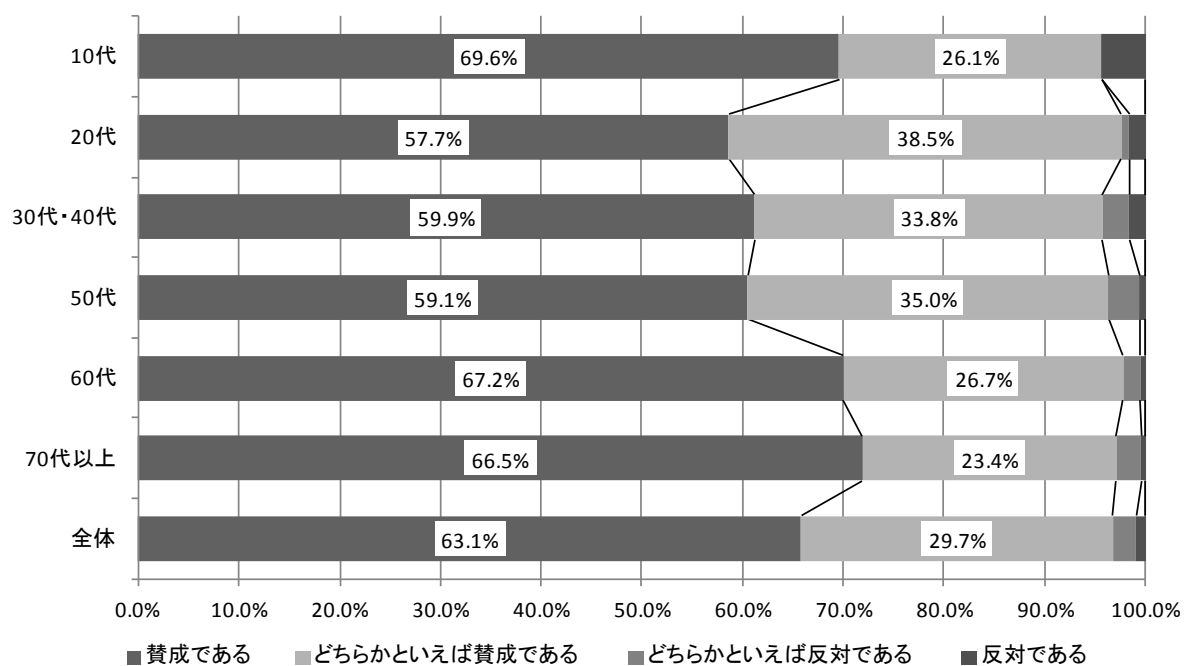
公共施設の再編・再配置、長寿命化に対する意向についてみると、9割を超える住民が「賛成」もしくは「どちらかといえば賛成である」と回答している。

年代別、地域別においても、いずれの年代で賛成意見が多い結果となっている。



n=1,987

< 公共施設の再編・再配置、長寿命化に対する意向 × 年代 >



n=1,987

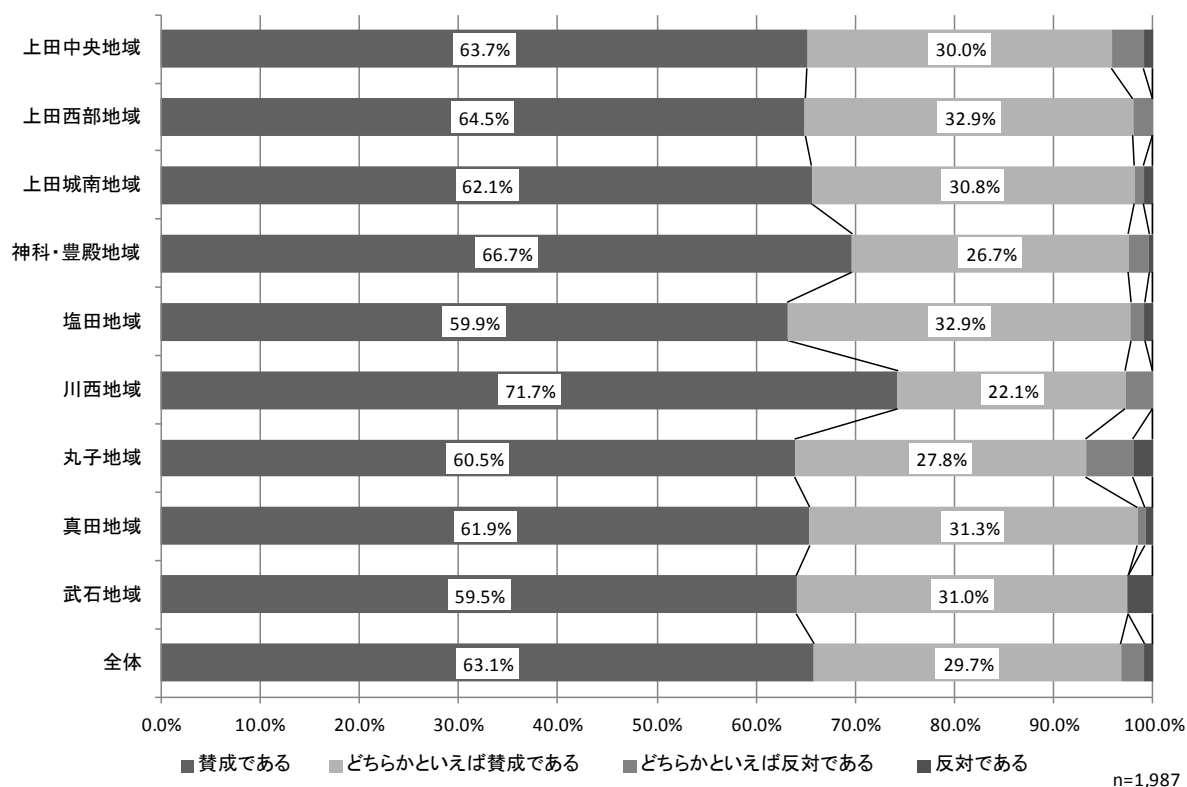
※上記グラフには無回答は掲載していません。

n=1,987

	年代							
	10代	割合	20代	割合	30代・40代	割合	50代	割合
賛成である	16	69.6%	75	57.7%	303	59.9%	199	59.1%
どちらかといえば賛成である	6	26.1%	50	38.5%	171	33.8%	118	35.0%
どちらかといえば反対である	0	0.0%	1	0.8%	13	2.6%	10	3.0%
反対である	1	4.3%	2	1.5%	8	1.6%	2	0.6%
無回答	0	0.0%	2	1.5%	11	2.2%	8	2.4%
合計	23	100.0%	130	100.0%	506	100.0%	337	100.0%

	年代							
	60代	割合	70代以上	割合	無回答	割合	全体	割合
賛成である	285	67.2%	376	66.5%	0	0.0%	1,254	63.1%
どちらかといえば賛成である	113	26.7%	132	23.4%	1	50.0%	591	29.7%
どちらかといえば反対である	7	1.7%	13	2.3%	0	0.0%	44	2.2%
反対である	2	0.5%	2	0.4%	0	0.0%	17	0.9%
無回答	17	4.0%	42	7.4%	1	50.0%	81	4.1%
合計	424	100.0%	565	100.0%	2	100.0%	1,987	100.0%

< 公共施設の再編・再配置、長寿命化に対する意向 × 居住地域 >



※上記グラフには無回答は掲載していません。

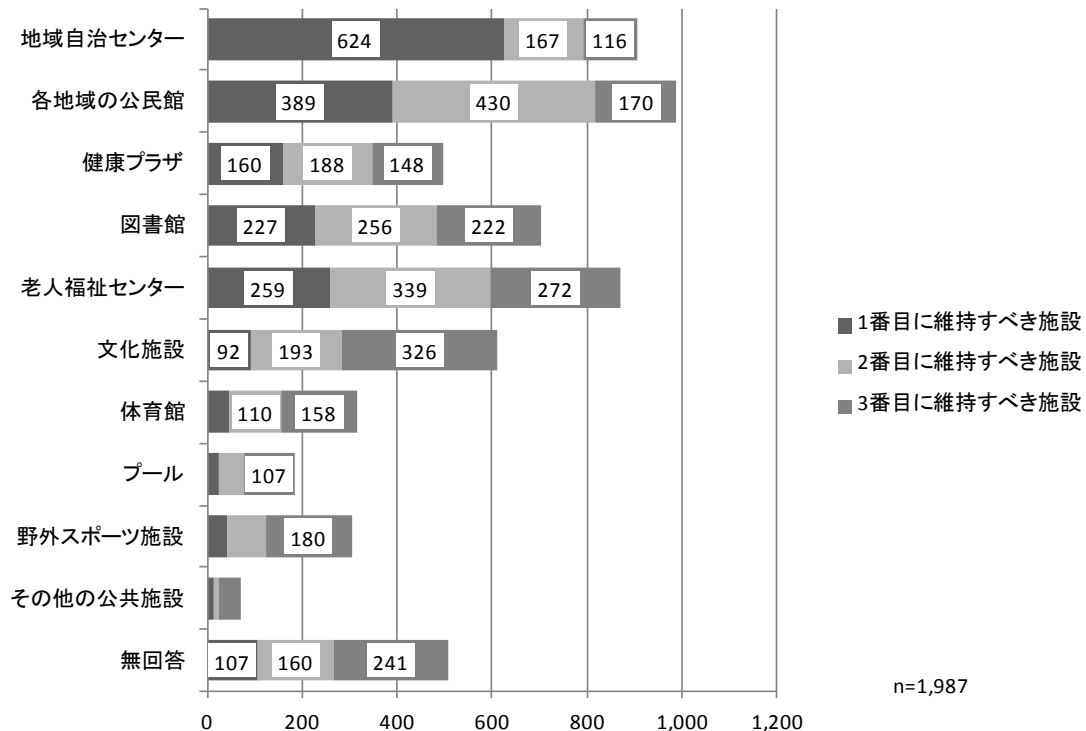
n=1,987

	居住地域											
	上田中央地域	割合	上田西部地域	割合	上田城南地域	割合	神科・豊殿地域	割合	塩田地域	割合	川西地域	割合
賛成である	282	63.7%	98	64.5%	210	62.1%	170	66.7%	142	59.9%	81	71.7%
どちらかといえば賛成である	133	30.0%	50	32.9%	104	30.8%	68	26.7%	78	32.9%	25	22.1%
どちらかといえば反対である	14	3.2%	3	2.0%	3	0.9%	5	2.0%	3	1.3%	3	2.7%
反対である	4	0.9%	0	0.0%	3	0.9%	1	0.4%	2	0.8%	0	0.0%
無回答	10	2.3%	1	0.7%	18	5.3%	11	4.3%	12	5.1%	4	3.5%
合計	443	100.0%	152	100.0%	338	100.0%	255	100.0%	237	100.0%	113	100.0%

	居住地域									
	丸子地域	割合	真田地域	割合	武石地域	割合	無回答	割合	全体	割合
賛成である	161	60.5%	83	61.9%	25	59.5%	2	28.6%	1,254	63.1%
どちらかといえば賛成である	74	27.8%	42	31.3%	13	31.0%	4	57.1%	591	29.7%
どちらかといえば反対である	12	4.5%	1	0.7%	0	0.0%	0	0.0%	44	2.2%
反対である	5	1.9%	1	0.7%	1	2.4%	0	0.0%	17	0.9%
無回答	14	5.3%	7	5.2%	3	7.1%	1	14.3%	81	4.1%
合計	266	100.0%	134	100.0%	42	100.0%	7	100.0%	1,987	100.0%

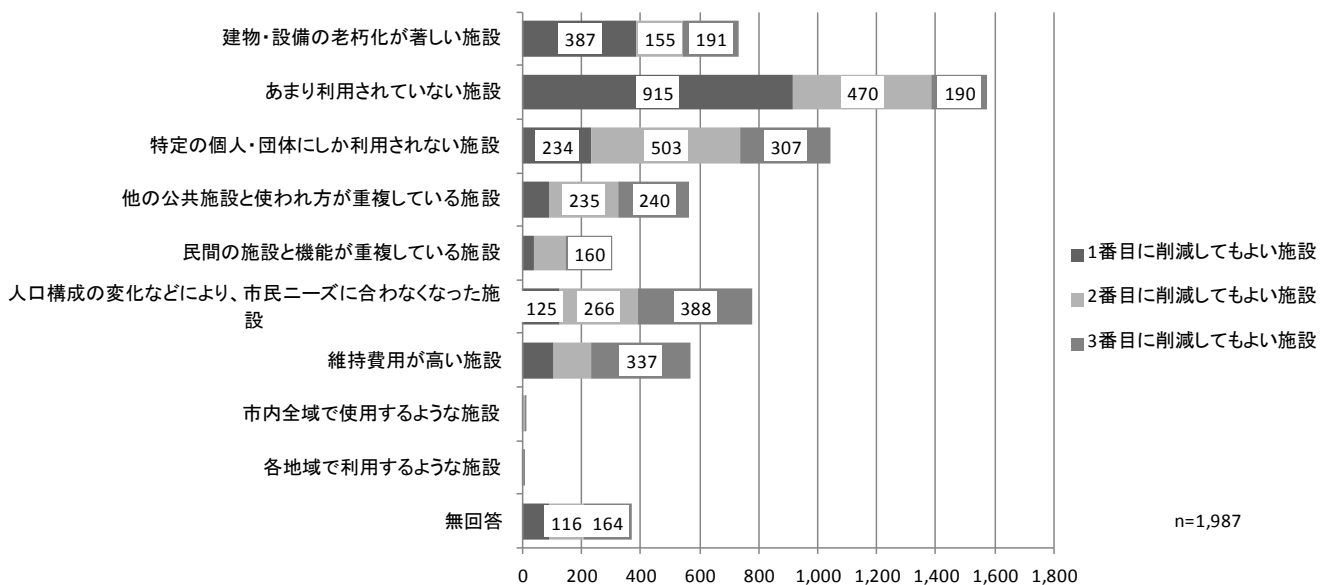
④コスト削減や財源確保を進めていく中で、優先的に維持すべきと考える公共施設

コスト削減や財源確保を進めていく中で、優先的に維持すべき公共施設として、「地域自治センター」が1番目に維持すべき施設としている。次いで、「各地域の公民館」を優先的に維持すべきと考えている。一方、「プール」が最も回答数が少なく、「体育館」や「野外スポーツ施設」でも回答数が少ない結果となった。



⑤今後、公共施設の施設数を減らしていく場合、どのような施設から削減していくべきか

削減しても良いと考える公共施設として、「あまり利用がされていない施設」を挙げる住民が多かった。次いで、「特定の個人・団体にしか利用がされない施設」、「建物・設備の老朽化が著しい施設」、「人口構成の変化などにより、市民ニーズに合わなくなった施設」と続いている。

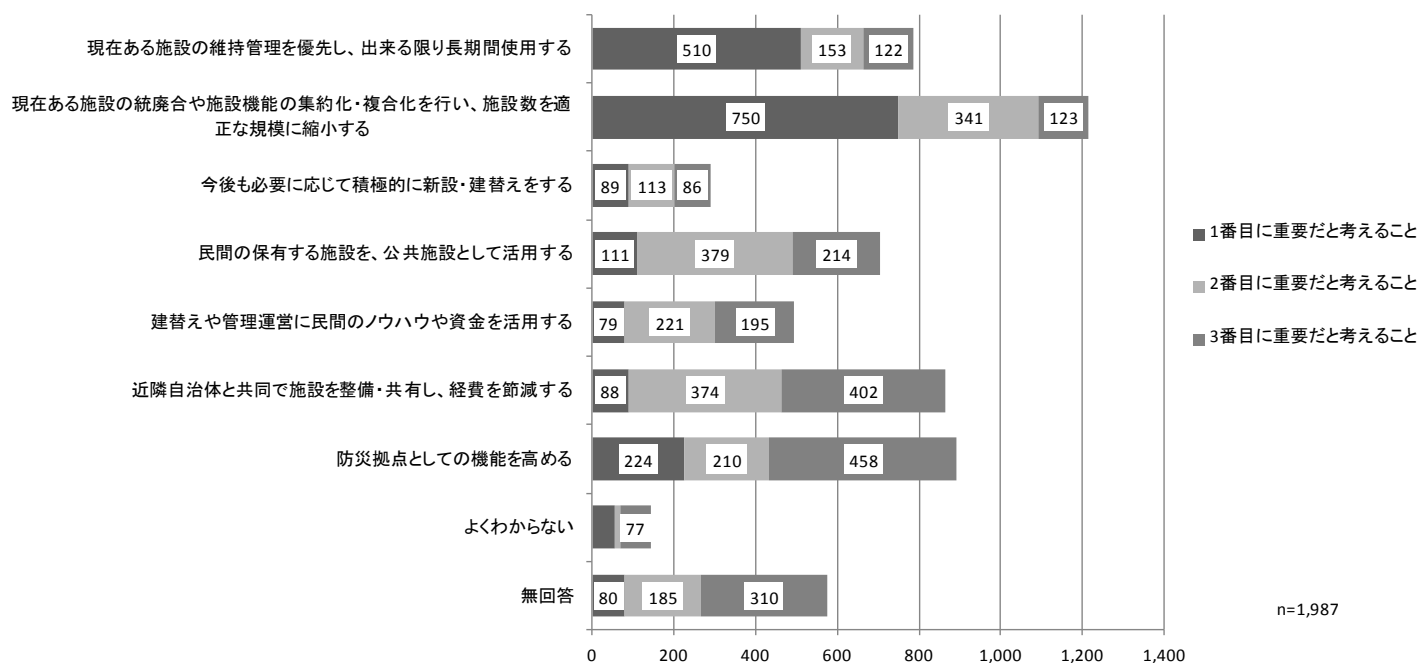


⑥今後の上田市における公共施設のあり方について

今後の上田市における公共施設のあり方として、「現在ある施設の統廃合や施設機能の集約化・複合化を行い、施設数を適正な規模に縮小する」(750名)を1番目に重要と考える住民が最も多かった。

次いで、「現在ある施設の維持管理を優先し、出来る限り長期間使用する」(510名)、「防災拠点としての機能を高める」(224名)を挙げる住民が多かった。

一方、「今後も必要に応じて積極的に新設・建替えをする」について、合計で重要と考える住民が最も少なかった。



2 自由意見

(1)「上田市の自慢できるもの・こと」について

自然、生活、環境の分野では、「豊かな自然環境に恵まれている」(388 件)が最も回答数が多かった。次いで、「自然災害が少ない」(189 件)、「気候が安定している」(140 件)と続いた。

また、歴史、文化、教育の分野では、「上田城」(261 件)が最も回答が多かった。その他に、「真田一族」(180 件)、「歴史的文化資源が多い」(136 件)が挙げられた。

産業、観光の分野では、「温泉」(86 件)、「農産物や地元食が豊富で美味しい」(71 件)で回答が目立った。

市民や地域の分野では、「人柄が温和、地域とのつながりが強い」とする回答が多かった。

その他として、新たに建設された「サントミュージーゼ」(23 件)を挙げる住民や新幹線駅である「上田駅」(20 件)を上田市の自慢とする回答もみられた。

分 野	主な意見 (カッコ内は意見の件数)	回答の主旨又は代表的なもの
自然、生活、環境	豊かな自然環境に恵まれている (388)	<ul style="list-style-type: none"> ・自然豊かな山に囲まれた田園風景にも恵まれている。 ・自然 (菅平高原、美ヶ原高原、千曲川、太郎山、四阿山、塩田平 など) が美しい。 ・おいしい空気と水がある。 など
	自然災害が少ない (189)	<ul style="list-style-type: none"> ・災害が少なく安心である。 ・自然災害に強い地形 など
	気候が安定している (140)	<ul style="list-style-type: none"> ・他地域に比べ降雨・降雪が少ない。 ・晴天が多い。 ・日照時間の長い。 ・暮らしやすい気候風土 など
	交通アクセスが良い (47)	<ul style="list-style-type: none"> ・新幹線駅があるなど首都圏との交通が便利。 ・高速道路網が充実しており、他地域への交通アクセスが良い。 など
	買い物がしやすい (13)	<ul style="list-style-type: none"> ・大型商業施設があり買い物が便利。 ・商業施設、公共施設、医療機関がコンパクトにまとまっており、住みやすい。 など
	街並みが美しい (13)	<ul style="list-style-type: none"> ・駅前にはゴミなどが無くきれい。 ・街並みがきれい など

歴史、文化、教育	上田城 (261)	<ul style="list-style-type: none"> ・上田城跡公園 ・千本桜 など
	真田幸村・真田一族 (180)	<ul style="list-style-type: none"> ・真田一族ゆかりの地 ・大河ドラマ「真田丸」 ・六文銭 など
	歴史的文化資源が多い (136)	<ul style="list-style-type: none"> ・安楽寺八角三重塔、前山寺三重塔、信濃国分寺跡、北向観音 など
	伝統工芸品、伝統芸能 (17)	<ul style="list-style-type: none"> ・上田紬 ・獅子舞 など
産業、観光	温泉 (86)	<ul style="list-style-type: none"> ・別所温泉 ・鹿教湯温泉 など
	農産物や地元食が豊富で美味しい (71)	<ul style="list-style-type: none"> ・りんご、ぶどう、松茸、稲倉棚田米、山口大根 など ・くるみそば、鮎料理、美味だれ焼き鳥、みすず飴、うさぎもち、じまん焼き、おやき など
	映画・ドラマのロケ地 (34)	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの映画やドラマのロケ地になっている など
	上田市が誇れるお祭り (25)	<ul style="list-style-type: none"> ・上田城跡公園千本桜祭り、上田わっしょい、上田花火大会、ねふた祭り など
	菅平高原 (23)	<ul style="list-style-type: none"> ・ラグビー合宿地で有名な菅平高原
市民、地域	<ul style="list-style-type: none"> ・人が穏やか、親切な人が多い ・地域（自治会）でのつながりが強い ・人の絆がすばらしい など 	
健康、福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援センターが充実 ・「にじいろひろば」が土日に利用できるのが有難い など 	
その他	サントミュージゼ (23)	<ul style="list-style-type: none"> ・有名な音楽家の演奏など聴けるのが楽しみ など
	上田駅 (20)	<ul style="list-style-type: none"> ・新幹線駅がある など

(2) 今後のまちづくりや市政に対する意見・要望、提案

今後のまちづくりや市政に対する意見、要望など分野ごとに分類してみると、「産業」、「健康・福祉」、「自然環境・生活環境」に関する意見が100件を超えている。次いで、「市政・運営会議」や「道路・公共交通機関」に対する意見も多く寄せられている。

分野	意見の件数	意見の傾向（カッコ内は意見の件数）
道路・公共交通機関	76	<ul style="list-style-type: none"> 生活道路などについて（38） 鉄道・バスなどの公共交通機関の利便性について（20） 市街地の整備などについて（4） など
自然環境・生活環境	101	<ul style="list-style-type: none"> 防災・災害対策について（18） ゴミ処理など環境衛生について（14） 公園・緑地や子どもの遊び場について（11） など
健康・福祉	112	<ul style="list-style-type: none"> 医療施設・救急医療体制について（40） 子どものための施設やサービス、子育て支援などについて（27） 高齢者のための施設やサービスなど高齢者福祉について（26） など
教育・文化・スポーツ	65	<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園、小・中学校の施設、教育について（29） 文化や芸術に親しむ機会や施設などについて（21） スポーツに親しむ機会や施設などについて（13） など
産業	119	<ul style="list-style-type: none"> 観光 PR の展開など観光振興について（33） 駅前周辺・商店街の活性化など商業振興について（23） イベント開催など地域振興について（21） など
コミュニティなど	25	<ul style="list-style-type: none"> 地域コミュニティなどについて（14） 広報・広聴について（11） など
市政運営・議会	86	<ul style="list-style-type: none"> 市役所職員・市長・市議会議員について（45） 行財政運営・税制などについて（16） 総合計画・まちの将来について（6） など
その他	162	<ul style="list-style-type: none"> アンケートについて（9） その他（153）
合計	746	

第3章 第二次上田市総合計画策定に向けて

1 住民アンケート結果からみえる課題の整理

(1) 『上田市の暮らしやすさ』を生かした施策立案を

上田市に対して、8割を超える住民が「大変住みやすい」、「まあまあ住みやすい」と回答している。(P3 参照) さらに、上田市に今後も住み続けたいかと尋ねた設問では、「ずっと住み続けたい」、「できれば住み続けたい」を合算すると、8割を超える住民が今後も住み続けたいとしている。(P13 参照) そこで、住みやすい理由をみると、「自然環境に恵まれている」(77.5%)と最も回答割合が高くなっている。次いで、5割を超える住民が「買い物などの日常生活が便利」を挙げている。(P7 参照)

また、自由意見の上田市の自慢できるもの・ことを尋ねた設問では、「豊かな自然環境に恵まれている」(388件)が最も回答数が多かった。次いで、「自然災害が少ない」(189件)、「気候が安定している」(140件)を挙げるなど居住環境の良さを魅力として回答している。(P33 参照)

今後、移住・定住促進を図っていくためには、こうした豊かな自然環境と買い物に対する利便性、災害が少ない、そして気候が安定していることなど、『上田市の暮らしやすさ』を生かした施策が重要といえる。移住・定住促進分野に対して豊かな自然環境の中で、安心した暮らしができる点を全面に出し、施策を検討していく必要がある。

(2) 「にぎわい創出」、「医療・福祉の充実」、「買い物など日常生活の向上」が課題

一方、住みにくいと感じる主な理由をみると、「まちに魅力やにぎわいが少ない」(38.7%)、「医療・福祉が充実していない」(37.7%)、「買い物などの日常生活が不便」(33.4%)を指摘している。

こうした現状を踏まえ、今後、より住みたいと思われる上田市になるために、にぎわい創出や医療・福祉の充実、買い物など日常生活の向上を目指した施策の展開が重要といえる。施策の検討にあたり、「買い物などの日常生活が不便」と回答した割合が他地域に比べ高かった「真田地域」(56.7%)、「武石地域」(70.6%)がみられるなど、こうした地域差の解消も課題といえる。

(P10~12 参照)

(3) 若い世代が住みたいと思えるまちづくりの必要性

上田市内においても高校卒業後に県外の大学等へ進学して、そのまま県外で就職するなど地元に戻らない若者が多数存在するとみられる。住みにくいと感じている理由をみると、20代で5割程が「働く場所に恵まれていない」を挙げている。(P10~11 参照) 働く場所が少ないと感じることが上田市へ戻ってこない1つの要因となっているため、地元での安定した雇用創出につながる施策の展開が重要といえる。

一方、10代の住みやすい理由をみると「道路や街並みなどが整備されている」(34.8%)、「通勤・通学が便利」(26.1%)が他の年代に比べ回答割合が高かった。自由意見の中にも、「新幹線駅がある」や「高速道路網が充実しており、他地域への交通アクセスが良い」のほか、「街並みがきれい」を上田市の魅力に挙げる住民もおり (P33~34 参照)、働く場の充実に加え、道路や街並

みの景観整備、新幹線などの交通アクセスの良さを生かした若い世代に対する施策の立案も必要と考えられる。

（４）誰もが健康で、安心して暮らすことができるまちづくりの推進

アンケート結果によると、住民が考える将来の地域の姿として「高齢者、障害者が暮らしやすいまち」が 63.5%と最も回答が多かった。（P22 参照）

今後、人口が減少し高齢化社会が進行する中、年金、医療、介護をはじめとした社会保障費負担の増加が見込まれており、市民一人ひとりが健康で元気に暮らすことの重要性が高まっている。そのため、誰もが心身の健康づくりに日頃から積極的に取り組むとともに、歩道や公共施設等におけるバリアフリーの促進も進め、高齢者や障害を持った市民など誰もが安全・安心して、健康で生きがいを持って生活ができる社会の実現が重要といえる。

加えて、東日本大震災の発生や異常気象に伴う自然災害による被害が毎年起こる中で、こうした自然災害への備えや、市民の防災意識も高まっているとみられる。将来の地域の姿として、「災害（火災、水害、土砂崩れ等）への対策が練られたまち」が 50.6%と半数の住民が希望しており、自然災害に対する防災体制への取り組みも必要といえる。（P22 参照）

（５）上田市の魅力を生かした「にぎわい創出」につながる施策の展開

住民が考える「上田市の自慢できるもの・こと」として、歴史、文化、教育の分野では、「上田城」（261 件）が最も回答が多かった。その他として、「真田一族」（180 件）、「歴史的文化資源が多い」（136 件）が挙げられた。また、産業、観光の分野では、「温泉」（86 件）、「農産物や地元食が豊富で美味しい」（71 件）で回答が目立った。（P33～34 参照）

2016 年の大河ドラマ「真田丸」の放映などもあり、観光客の増加が期待される。今後は、上田市の魅力の 1 つである歴史的・文化的資源をさらに磨き上げていくとともに、5 年、10 年先を見据えたさらなる誘客促進につながる施策立案を進めるなど、にぎわい創出を目指した取り組みが重要といえる。

（６）子どもから高齢者まで誰もが利用しやすい公共交通の充実

将来、望むまちになるための取り組みとして、「誰もが利用しやすい公共交通の充実」（438 名）が、1 番目に優先順位が高いと考える住民が最も多かった。加えて「公共公益施設等におけるバリアフリーの促進」（179 名）でも優先順位が高いとする住民も多く存在している。そのため、子どもから高齢者、そして障害者でも利用できる市内循環型バスや電車など公共交通の維持のほか、利用促進を図るための施策も重要といえる。（P25 参照）

（７）将来を見据えた公共施設の再編・再配置、長寿命化の取り組み

将来的な公共施設の再編・再配置、長寿命化を図る方向性については、9 割を超える住民が賛成している。（P28 参照）今後の公共施設のあり方に関する考え方としても、「現在ある施設の統廃合や施設機能の集約化・複合化を行い、施設数を適正な規模に縮小する」（750 名）を 1 番目に重要と考える住民が最も多い。またこれに次いで「現在ある施設の維持管理を優先し、出来る限

り長期間使用する」(510名)、「防災拠点としての機能を高める」(224名)と考える住民も多かった。(P32 参照)

公共施設の統廃合を検討する中、削減しても良いと考える公共施設として「あまり利用されていない施設」を挙げる住民の割合が多い。(P31 参照)ここで、市内の公共施設の利用頻度を施設別でみると、「定期的に利用」と「たまに利用」を合算した回答割合は、「各地域の公民館」が40.3%と最も回答が多かった。次いで、「地域自治センター」(29.8%)、「市役所」(27.8%)が多い。一方、「健康プラザ」(10.0%)、「市民会館」(10.0%)などのほか、「プール」(9.7%)や「体育館」(10.7%)などスポーツ施設等の利用割合が低かった。このように、施設によって住民の利用頻度には差がある。(P26 参照)

利用しない理由をみると、いずれの施設でも「利用の必要がない」を挙げる住民が多かった。また、「健康プラザ」や「文化施設」、「野外スポーツ施設」は他施設に比べ、「施設の利用方法を知らない」を理由とする割合が多い。(P27 参照)これらの施設のように、利用方法を知らないうちに施設利用に至らないケースも多くあると考えられる。(P27 参照)

こうした状況を踏まえ、各施設の利用状況や利用されない要因などの現状把握を進めていくとともに、地域の将来像を描きつつ、公共施設のあり方を検討していく必要がある。今後を見据え、利用があまりされていない施設や住民ニーズに合わなくなっている施設については、規模の縮小や集約化を進めていく必要がある。また、住民にとって、優先的に維持すべきと考える地域自治センターや各地域の公民館に対しては耐震化工事など長寿命化を進め、防災拠点としての機能を高めていくことも必要といえる。

2 まとめ～第二次上田市総合計画策定に向けて～

本調査の実施を通じて、産業面や健康・福祉などさまざまな意見が寄せられた。特に、上田市は、豊かに自然に囲まれ、かつ気候が安定しており、自然災害が少ないために今後も住み続けたいと考える住民が多数を占めていた。また、上田市には上田城など歴史的・文化的な資源のほか、新鮮で美味しい農産物、くるみそばや鮎料理をはじめとする地元食も豊富にあるなど、今後生かすべき魅力が数多く存在している。

一方で、住民が重要と考えているものの、満足度が低い傾向にあった施策として、商業・商店街への支援や中小企業・地場産業支援、就業機会の創出、地域医療体制の構築、高齢者福祉などが挙げられるなど、こうした分野への対応が今後の課題といえる。

第二次総合計画策定に向けて、「笑顔あふれる美しいまちなみ」や「住民が『健康』で『幸福』に暮らせる上田市」の実現を目指すためにも、「自助(市民力)」、「共助(地域力)」、「公助(行政力)」による精神で、住民・地域・行政がともに連携し、実行していくことが求められる。

<参考資料編>

上田市の住みやすさについてお伺いします。

ご回答はこちらに
お願いします

問1 あなたは、上田市は住みやすいまちだと思いますか。次の中から1つ選んでください。

- | | |
|-------------|---------|
| 1 大変住みやすい | 4 住みにくい |
| 2 まあまあ住みやすい | 5 わからない |
| 3 やや住みにくい | |

問1回答欄

問2 問1で1「大変住みやすい」2「まあまあ住みやすい」とお答えになった方にお尋ねします。住みやすいと感じる主な理由は何ですか。次の中から2つまで選んでください。

- | | |
|--------------------|-----------------|
| 1 自然環境に恵まれている | 6 買い物などの日常生活が便利 |
| 2 道路や街並みなどが整備されている | 7 医療・福祉が充実している |
| 3 通勤・通学が便利 | 8 まちに魅力やにぎわいがある |
| 4 働く場所に恵まれている | 9 その他 () |
| 5 教育・文化環境の整備が進んでいる | |

問2回答欄

問3 問1で3「やや住みにくい」4「住みにくい」とお答えになった方にお尋ねします。住みにくいとを感じる主な理由は何ですか。次の中から2つまで選んでください。

- | | |
|----------------------|------------------|
| 1 自然環境に恵まれていない | 6 買い物などの日常生活が不便 |
| 2 道路や街並みなどの整備が不足している | 7 医療・福祉が充実していない |
| 3 通勤・通学が不便 | 8 まちに魅力やにぎわいが少ない |
| 4 働く場所に恵まれていない | 9 その他 () |
| 5 教育・文化環境の整備が遅れている | |

問3回答欄

問4 あなたは今後も上田市に住み続けたいとお考えですか。次の中から1つだけ選んでください。

- | | |
|--------------|-------------|
| 1 ずっと住み続けたい | 4 転居する予定がある |
| 2 できれば住み続けたい | 5 どちらでもない |
| 3 できれば転居したい | |

問4回答欄

市の全般的な施策や事業等についてお伺いします。

問5 以下に示す分野ごとの施策等について、どのように感じますか。次の項目ごとにあてはまる番号を1つずつ選んでください。

注) ご記入にあたって

満足度 ・ ・ 各欄の左側に記す項目ごとに、その現状についてどのように感じているか、5段階のうちあてはまる番号に○を付けてください

重要度 ・ ・ 上田市のまちづくりや発展のために重視すべきだと思う度合について、5段階のうちあてはまる番号に○を付けてください

幸福度 ・ ・ 各欄の左側に記す項目ごとに、その現状についてどのように感じているか、5段階のうちあてはまる番号に○を付けてください

↓以下からが質問です

		満足度					重要度					
		満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない	
	- 施策に対する評価 (満足度・重要度) -											
	例示) 施策について該当する番号を○で囲む→	⑤	4	3	2	1	⑤	4	3	2	1	
(市民との協働)	1 市民と行政、みんなで作る協働したまちづくり	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
	2 自治会や住民グループの活動	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
	3 男女共同参画社会の実現	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
	4 まちづくり団体など、地域コミュニティ活動への支援	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
		- 総合的な評価 (幸福度) -										
		例示) あなたの実感に最も近い番号を○で囲む →						⑤	4	3	2	1
		地域の住民による主体的なまちづくりがされていると思いますか	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
		コミュニティやまちづくり団体、NPOなどの活動が活発であり、地域が元気になっていると感じますか	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
		自分の住む地域に愛着を持っていますか	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

	満足度					重要度				
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
- 施策に対する評価（満足度・重要度） -										
例示) 施策について該当する番号を○で囲む→	⑤	4	3	2	1	⑤	4	3	2	1
1 循環型社会への取り組み (ごみの減量化や資源リサイクルの推進など)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2 騒音や悪臭などの公害の少なさ	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
3 防犯対策の充実 (防犯活動の支援や防犯等の整備など)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
4 交通安全の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
5 消防・救急体制の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
6 火災、水害、地震などへの防災対策	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
7 街並みや建物などの、まちの景観	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
8 身近な生活道路や主要幹線道路の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
9 鉄道やバスなどの公共交通機関の利便性	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
10 上水道・下水道の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
11 市民の憩いの場としての公園・緑地の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
						幸福度				
						そう思う	どちらかというと思う	どちらともいえない	どちらかというと思う	そう思わない
- 総合的な評価（幸福度） -										
例示) あなたの実感に最も近い番号を○で囲む →						⑤	4	3	2	1
環境を大切にする快適な暮らしができていると感じますか	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
緊急時に対応した安全・安心な応急体制が整っていると思いますか	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
歴史・文化を大切にした「上田らしさ」が光るまちであると感じますか	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
道路や公共交通機関などの交通網は、利用しやすいと感じますか	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
身近な生活環境は清潔で安全だと感じますか	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

（住環境・都市基盤）

	満足度					重要度				
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
- 施策に対する評価（満足度・重要度） -										
例示) 施策について該当する番号を○で囲む→	⑤	4	3	2	1	⑤	4	3	2	1
1 情報公開と対話の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2 財源確保や適正な支出による健全な財政運営の確立	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
3 行政改革による効率的・効果的な市政運営	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
4 地域で活躍する人材の育成	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
5 隣接市町村との連携	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
6 国内外の友好都市との交流	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
						幸福度				
- 総合的な評価（幸福度） -						そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらともいえない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない
例示) あなたの実感に最も近い番号を○で囲む →						⑤	4	3	2	1
市政には市民の声が活かされていると思いますか						5	4	3	2	1
行政改革に積極的に取り組んでいると思いますか						5	4	3	2	1
上田市政を総合的にみて満足していますか						5	4	3	2	1

	- 施策に対する評価（満足度・重要度） -	満足度					重要度				
		満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
	例示) 施策について該当する番号を○で囲む→	⑤	4	3	2	1	⑤	4	3	2	1
（産業振興）	1 農業の振興 （農業者の育成、農業基盤施整備、産地化など）	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	2 林業の振興 （森林の保全、山林資源の整備など）	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	3 商業・商店街の活性化	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	4 中小企業への支援や地場産業の育成、支援	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	5 観光振興への取り組み	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	6 就業機会の提供	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	7 創業、起業の機会や支援策	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	- 総合的な評価（幸福度） -						幸福度				
	例示) あなたの実感に最も近い番号を○で囲む →						⑤	4	3	2	1
	“地産地消”を実感する機会がありますか						5	4	3	2	1
	買い物などに不便のない生活を送ることができていると感じますか						5	4	3	2	1
	新分野に進出する企業や、新たな企業が生まれるなど、産業が元気なまちになっていると感じますか						5	4	3	2	1
	観光客などの賑わいにより、まちが活性化していると感じますか						5	4	3	2	1

	満足度					重要度				
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
- 施策に対する評価（満足度・重要度） -										
例示) 施策について該当する番号を○で囲む→	⑤	4	3	2	1	⑤	4	3	2	1
1 健康づくり活動の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2 地域医療体制の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
3 地域福祉の推進 (市民団体との連携、福祉団体への支援など)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
4 高齢者福祉の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
5 児童福祉の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
6 障害者福祉の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
7 母子・父子福祉の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
8 低所得者福祉の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
						幸福度				
- 総合的な評価（幸福度） -						そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらともいえない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない
例示) あなたの実感に最も近い番号を○で囲む →						⑤	4	3	2	1
健康に長生きし、豊かな人生を送れる環境が整っていると感じますか						5	4	3	2	1
誰もが安心して暮らすための福祉は充実していると感じますか						5	4	3	2	1
全ての人の人権が尊重され、明るく安全に暮らせるまちだと感じますか						5	4	3	2	1

	- 施策に対する評価（満足度・重要度） -	満足度					重要度				
		満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
	例示) 施策について該当する番号を○で囲む→	⑤	4	3	2	1	⑤	4	3	2	1
（ 環 境 ・ 文 化 ）	1 自然環境の保全と活用	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	2 河川・湖沼の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	3 文化・芸術活動の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	4 歴史的文化財の保護と活用	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	- 総合的な評価（幸福度） -						幸福度				
	例示) あなたの実感に最も近い番号を○で囲む →						⑤	4	3	2	1
	豊かな自然と触れ合う機会に恵まれていると感じますか						5	4	3	2	1
	人と自然が調和した暮らしやすい環境だと感じますか						5	4	3	2	1
	上田市は、文化や芸術に触れたり参加したりする機会に恵まれていると感じますか						5	4	3	2	1
	歴史や文化財といった上田市の魅力に、愛着・誇りを感じますか						5	4	3	2	1

	- 施策に対する評価（満足度・重要度） -	満足度					重要度				
		満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
	例示) 施策について該当する番号を○で囲む→	⑤	4	3	2	1	⑤	4	3	2	1
（ 教 育 ）	1 学校施設の整備・充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	2 特色ある学校教育への取り組み	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	3 地域に開かれた学校づくり	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	4 青少年健全育成への取り組み	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	5 趣味、教養を高める生涯学習の推進やスポーツ、レクリエーションの振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	- 総合的な評価（幸福度） -	幸福度					そう思う	どちらかというと思う	どちらともいえない	どちらかというと思う	そう思わない
	例示) あなたの実感に最も近い番号を○で囲む →	⑤	4	3	2	1	⑤	4	3	2	1
	子どもたちは、自発性や豊かな心、たくましが育まれていると感じますか	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	地域を思う社会性のある人材は育っていると感じますか	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	生涯を通じて学んだり、スポーツを楽しんだりする環境は整っていると感じますか	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

これからの公共施設のあり方について伺います。

上田市の公共施設の多くは今後、老朽化した施設の更新時期を迎え、大規模な改修や建て替えに伴う多額の費用が必要になると想定されます。人口減少や少子高齢化といった社会情勢が変化する中で、将来にわたり持続可能な行財政運営を行っていくために、今ある公共施設のあり方を見直し、公共施設の再編・再配置、長寿命化を図り、効率性に配慮しながら適切に管理することが求められています。このような中、上田市の公共施設について、あなたの考えを教えてください。

問 8-1 あなたは過去 1 年間に上田市の公共施設をどのくらい利用しましたか。

以下の施設ごとに、あてはまる番号に○をつけてください。

	1. 定期的に利用した	2. たまに利用した (2~3 カ月に 1 回程度)	3. ほとんど利用していない (半年に 1 回程度)	4. 過去 1 年以内には利用していない	5. 今まで一度も利用したことがない	3, 4, 5 を選択した理由
						下の理由欄から一つ選んで数字を記入ください
市役所	1	2	3	4	5	
地域自治センター (各地域自治センター)	1	2	3	4	5	
各地域の公民館	1	2	3	4	5	
健康プラザ	1	2	3	4	5	
図書館	1	2	3	4	5	
市民会館	1	2	3	4	5	
老人福祉センター	1	2	3	4	5	
文化施設	1	2	3	4	5	
体育館	1	2	3	4	5	
プール	1	2	3	4	5	
野外スポーツ施設	1	2	3	4	5	
その他の公共施設 (施設名：)	1	2	3	4	5	

【3, 4, 5 を選択した理由】

- | | | |
|-------------------|----------------|-------------------|
| 1 利用の必要がない | 2 利用料金が低い | 3 希望時間に施設を利用できない |
| 4 アクセスが不便 | 5 施設や利用方法を知らない | 6 同種のお市の施設を利用している |
| 7 同種の民間の施設を利用している | 8 その他 | |

問 8-2 上田市は、人口減少や少子高齢化が進んでいく時代の変化に対応していくために、できる限り今までのサービスを維持しながら、今ある公共施設のあり方を見直し、公共施設の再編・再配置、長寿命化を図っていく必要があると考えています。この考えについてどう思われますか。

- | |
|-----------------|
| 1 賛成である |
| 2 どちらかといえば賛成である |
| 3 どちらかといえば反対である |
| 4 反対である |

ご回答はこちらに
お願いします

問 8-2 回答欄

問 8-3 今後、コスト削減や財源確保に向けた取り組みを進める中で、優先的に維持するべきと考える公共施設を3つ以内で選んでお答えください。

- | | |
|------------|------------------------|
| 1 地域自治センター | 2 各地域の公民館 |
| 3 健康プラザ | 4 図書館 |
| 5 老人福祉センター | 6 文化施設 |
| 7 体育館 | 8 プール |
| 9 野外スポーツ施設 | 10 その他の公共施設
(施設名：) |

問 8-3 回答欄

1 番目に維持すべき施設	→	
2 番目に維持すべき施設	→	
3 番目に適切すべき施設	→	

問 8-4 今後、コスト削減や財源確保に向けた取り組みを進める中で、公共施設の施設数を減らしていかなければならなくなった場合、どのような施設から削減していけばよいと思いますか。削減してもよいと考える施設を、3つ以内で選んでお答えください。

- | |
|--------------------------------|
| 1 建物・設備の老朽化が著しい施設 |
| 2 あまり利用されていない施設 |
| 3 特定の個人・団体にしか利用されない施設 |
| 4 他の公共施設と使われ方が重複している施設 |
| 5 民間の施設と機能が重複している施設 |
| 6 人口構成の変化などにより、市民ニーズに合わなくなった施設 |
| 7 維持費用が高い施設 |
| 8 市内全域で使用するような施設 (例：) |
| 9 各地域で利用するよう施設 (例：) |

問 8-4 回答欄

1 番目に削減してもよい施設	→	
2 番目に削減してもよい施設	→	
3 番目に削減してもよい施設	→	

問8-5 あなたは、上田市の公共施設を今後どのようにしていきべきだと思いますか。あなたが重要だと考えるものを、3つ以内で選んでお答えください。

- 1 現在ある施設の維持管理を優先し、出来る限り長期間使用する
- 2 現在ある施設の統廃合や施設機能の集約化・複合化を行い、施設数を適正な規模に縮小する
- 3 今後も必要に応じて積極的に新設・建替えをする
- 4 民間の保有する施設を、公共施設として活用する
- 5 建替えや管理運営に民間のノウハウや資金を活用する
- 6 近隣自治体と共同で施設を整備・共有し、経費を節減する
- 7 防災拠点としての機能を高める
- 8 よくわからない

ご回答はこちらに
お願いします

問8-5 回答欄

1 番目に重要だと考えること	→	<input type="checkbox"/>
2 番目に重要だと考えること	→	<input type="checkbox"/>
3 番目に重要だと考えること	→	<input type="checkbox"/>

上田市の自慢できること・ものについて伺います。

問9 「上田市の自慢できること・もの」は何ですか。

今後のまちづくりについてお伺いします。

問10 今後のまちづくりや市政について、ご意見・ご要望、ご提案などがありましたらご自由にお書きください。

アンケートは以上です。

お忙しいところ、ご協力いただきましてありがとうございました。

恐れ入りますが、**9月8日(月)**までに、同封の返信用封筒にてご返送ください。

2 自由意見

(1)「上田市の自慢できること・もの」について

自然、生活、環境
<ul style="list-style-type: none">・自然災害の少ないまち・自然豊かな山に囲まれ天候にも恵まれている。・自然（菅平高原、美ヶ原高原、千曲川、太郎山、四阿山、塩田平 など）が美しい。・他地域に比べ降雨・降雪が少ない。・日照時間の長く、暮らしやすい気候風土・おいしい空気と水がすばらしい。・別所線の舞田あたりの風景・自然環境との共存しているまち・町中きれい。ごみ殆ど落ちてない。・新幹線駅があるなど首都圏との交通が便利である。・高速道路網が充実しており、他地域への交通アクセスが良い。・商業施設、公共施設、医療機関がコンパクトにまとまっており、住みやすい。・大型商業施設があり買い物がしやすい。
歴史、文化、教育
<ul style="list-style-type: none">・市内には数多くの歴史的文化遺産が存在している。 例：上田城、安楽寺八角三重塔、前山寺三重塔、信濃国分寺跡、北向観音、生島足島神社、中禅寺 など・真田幸村をはじめとする真田一族、六文銭・サントミュージゼの文化施設、信州国際音楽村・上田紬などの伝統工芸品、獅子舞などの郷土芸能・信州大学繊維学部、長野大学、上田女子短大、長野県工科短大など教育機関が充実している。
産業、観光
<ul style="list-style-type: none">・別所温泉、鹿教湯温泉など有名な温泉がある。・上田市が誇れるお祭りがある。例えば、上田城跡公園千本桜祭り、上田わっしょい、上田花火大会、ねふた祭り など・岳の幟、御柱祭（生島足島神社、武石子檀嶺神社）、信濃国分寺八日堂縁日・映画やドラマの撮影が多く行われている。美しい景色や魅力的なまち並みが評価されているからだと思う。・上田フィルムコミッションによるロケ地誘致。サマーウォーズなど・他地域にない特産物が豊富 例：くるみそば、鮎料理、美味だれ焼き鳥、みすず飴、うさぎもち、じまん焼き、おやきなど・農産物が新鮮で美味しい 例：リンゴ、ぶどう、まつたけ、稲倉棚田米、山口大根、地酒、うさぎもち、じまん焼き、お

やき など

- ・電気部品、自動車部品、食品（ハム、味噌）など工業製品がある。
- ・市内には多くの市民が雇用される優良な製造業（安定職場）がある。
- ・ラグビー合宿地で有名な菅平高原

市民、地域

- ・人の絆がすばらしい。
- ・地域（自治会）でのつながりが強い。
- ・人の性質が温和、郷土愛がある。

健康、福祉

- ・手厚い子育て支援、子育て支援センターが充実している。
- ・子育てしやすいまちだと思う。特に、「にじいろひろば」が土日に利用できるのが有難い。
- ・市内には、乳幼児の遊び場や親の交流スペースが充実しており、子育て世代にとって有難い。
- ・高齢者福祉センターには、30 以上のクラブや、学園もあり本当に大切なセンターだと思う。無料のお風呂も利用者にとって有難い。

(2) 今後のまちづくりや行政に対する意見・要望、提案など

自治・協働・行政

●市役所職員について

- ・ 市政に携わる皆さんの誠実で熱心な業務推進に感謝している。
- ・ 本庁の行政サービスの意識改革は、徐々に進んでいると感じるが、自治センターの改革はあまり感じられない。電話をしても名前を求められてから名前を名乗ったり、男性も女性も雑談が目立つ（特に女性）。
- ・ 地域自治センターに適正人員が配置されているとは思えない。「業務の多い部署」や「暇を持てあまして見える部署」が見受けられる。
- ・ 保育園の先生をパートの方に委託しすぎだと思う。
- ・ 市役所窓口は、もっとサービス業に近い対応をして欲しい。
- ・ 地方公務員の大幅な削減で財政の健全化が必要。
- ・ 市役所担当者が業務中にタバコを吸いに席を立てていたのが残念であった。
- ・ 自治センター、公民館、図書館等、それぞれの地域にあって便利ですが、人員が多いと思う。仕事がなく手持無沙汰な職員、仕事時間中にも談笑しているのを目にすると腹が立つ。新しい市民会館も完成するので、人件費は極力抑えて欲しい。
- ・ 市役所、自治センター等、適正人数の配置より多いと思う。
- ・ お昼に行ったとき、チャイムが鳴り、職員の話が短縮され終わってしまった。

●広報・広聴について

- ・ 広報うえだに広告欄は不要と思われる。ページ数を少なくして写真は極力少なくして欲しい。
- ・ 市よりの広報各紙発行の見直し（必要として毎回見ている市民は一体何人いるのか）、必要であれば、コンビニでも取り出せるとか、PCから取り出せるなど改善が必要では？
- ・ 市がどんなことに取り組んでいるのかわからないので、もっとわかりやすく情報公開をして欲しい。
- ・ 大河ドラマ「真田丸」のように上田市が発信できるような事業を推進して欲しい。
- ・ どういう政策を行っているのかが分からないのでケーブルテレビなどを通じて伝えてみるのもいいのでは？
- ・ 広報は毎月 2 回配布されているが、文字が小さくて読めないことや、読む気にならないといった意見を良く聞く。内容の充実も大事だが、読みやすい方がさまざまな情報を市民に伝えやすいと思う。
- ・ 上田市として発行されている情報誌は、アパートで暮らしている人たちには配布がないので、持家、賃貸にかかわらず、情報誌の配布があれば、情報誌を見て公共施設などの利用も増えるのではないかと思う。
- ・ 市長や市職員が市民の意見を直接聞く場を設けてみてはどうか。

●総合計画・まちの将来について

- ・ 日本が 10 年先は財政的にかなり苦しくなると思うので、その時に上田市がどうするか考える

時である。観光によって外から人を（観光に来る人も、もちろんだが、観光によって働く人を増やすこともできる）お金を集められるようにする。人口を増やすために今はあらゆる手段をしなければ10年先は大変なことになる。

- ・市、各自治センターで5年、10年先を見据えた計画を立案することが大事。
- ・第二次総合計画の策定は誠に結構です。しかしチラシによると平成28年度から37年度の10年間は計画期間とし・・・とあります。計画はもっと早くに立て実行に移していくことが大切です。
- ・第一次上田総合計画の評価について、市民とも共有して欲しい。

●行財政運営・税制などについて

- ・市民税が高いと思う。
- ・介護施設の給料を引き上げるような施策が必要。介護は身体的にも負担であり、給料やボーナスも考慮するなどお願いしたい。そうしないと働き手がいなくなると思う。
- ・財政健全化第一。とにかく議員・職員の削減及び報酬の減額等、目に見える形で身を削り、その上、市民に不便・負担がかかるとしても必要性の低いものからカットして下さい。ただし、子供・障がい者の人には今以上の経済的支援をお願いします。
- ・現在建替え工事等、高額のお金を使わずリース等で建て替えをすなど考えて欲しい。市役所等高い金額の物は30年リースというものもあり是非お願いしたい。
- ・低所得者（年収200万前後）に対する減税の実施をお願いしたい。
- ・予算削減、事業の仕分けが必要である。
- ・税金が高い。低所得者に対して税金をもっと低くして欲しい。
- ・県外から転入してきましたが、住民税が高く驚いている。
- ・市民税の見直し。税金の使い道を市民に分かりやすく説明して欲しい。上田市独特の減税を作って話題を集める町にして欲しい。

●本アンケートについて

- ・このアンケートの項目があまりにも多く、また難しい言葉も多く回答する立場になった質問用紙にして欲しい。素人にはどういうことを言っているのかわからないものや、同じような内容のものがあり選ぶのが大変であった。また、どちらともいえないに○をしたものについては、「知らない」「わからない」というものが殆どでした。
- ・問が非常に難しいです。調査を半分終わらせていくうちに答えるのが嫌になるほどでした。市政についての事とは理解しますが、次回はもう少し簡素化をお願いしたい。
- ・このアンケートの回答に20分ぐらいかかった。10分程度で終わるアンケートの方が回収率は上がると思う。
- ・もっと若者の意見を取り入れる機会があると良い。
- ・アンケート結果を反映させた施策を希望する。
- ・広報などで市民アンケート結果について公開して欲しい。

●地域コミュニティなどについて

- ・地域の消防団の活動に感謝するような取り組みをして欲しい。出勤回数と報酬が見合わず、若い人が入りたがらない原因となっている。
- ・消防団のあり方について、定数および定年について、明確に定めるべき。分団ごとの状況で年齢差があるのはおかしい。
- ・行政への改革にメリハリのある実践力をもって動いて欲しい。上田市ふるさとへの情熱をもっている人が多い中で若い力を活用して欲しい。
- ・まちづくり、市政にはリーダーシップが必要だと思う。
- ・合併した地域に力を入れるべき！広範囲で水準の高い「まち」を目指すモデルケースに！
- ・上田市においても自治会によって市のルールに差がある。（ゴミ出しのルール等、特にゴミステーションのできる限りの均一化。掃除当番の平等化）
- ・隣組長の仕事など市の方より文書を発行して欲しい。数年に一回の役ではあるが、なんとなくやっているパターンが多い。
- ・県内転勤のため、上田に引っ越してきました。前々回も今回もそうですが、自治会に入っていないのにゴミを捨てると言われ、自治会に入ったが、さまざまな役員が当番制で回ってくる。途中で転勤になってしまうと、代わりの人を探すなど周りに迷惑をかけてしまう。
- ・子どもが楽しめる自治会の推進、子どもが大人になって戻ってきたくなるようなまちづくり、大人づくりを進めて欲しい。
- ・自治会等の住民が協力しあってまちづくりを進めているが、時々、行政に任せすぎている面も見られる。

自然・生活・環境

【交通・道路について】

●市街地の整備などについて

- ・交通機関、道路などの整備などは進んでいるが、それに伴った周辺地域の活性化、住宅等への配慮などがなされているのか疑問である。総合的なまちづくりや環境整備を求める。
- ・大型商業施設が千曲川右岸に集中しすぎ。
- ・松本市のようなおしゃれな街を創りあげて欲しい。
- ・市街地の商店街に活気がない。商店街に行くと、意外な発見や素敵なお店があって楽しい。商店街全体に活気がないので残念。商店街で土日にお昼を食べられる店が少なく、これから観光客が増えることを考えると食事のできる店に加え、駐車場の整備が重要と思う。

●生活道路などについて

- ・道路整備が不十分（狭い道、歩道が無い、電柱が多く景観も悪い、子供の通学時の交通事故の危険度が高い等）
- ・狭い道路が多いので、広くして欲しい。また、道路の脇に自転車専用の道を設けて欲しい。
- ・車優先の道路施策から歩行者、自転車を守る道路を全市において広げるべく転換して欲しい。

- ・松本市との行き来がもう少し気軽にできるようになると良い。
- ・車道は良く整備されているが、歩道の整備が不満である。特に自転車で歩道を走ると凸凹が激しく安定した走行に支障をきたす。また、大雨が降った後は、水が溜まり歩くのが大変であり、至急改善して欲しい。
- ・松本へ行く道など無料で短時間移動を可能にするなど便利性を考えた交通の改善の取り組みが必要。
- ・私は丸子地区在住する者だが、現在、大屋方面から旧丸子方面へ入る道路は国道 152 号だけで朝夕の混雑は激しいものがある。私の案ですが小牧地区から依田地区北原南原部落の間位にトンネルでも開ければ良いと思う。
- ・真田町から上田市内に行く国道 144 号線の早期四車線化、(神科小学校より上の道路)
- ・上田～丸子間の交通渋滞の解消を早急にやること。
- ・ガス、上下水道工事後は全面舗装にして欲しい
- ・交通信号機の右折優先を増やすこと。第二中学校の横から公園へ行くところの信号機等。
- ・国道 144 号線 (神科～菅平入口) 片側 2 車線を整備の実現へ。
- ・リニア着工に伴い「上小・諏訪高規格道路」「松本・佐久 (上田) 高規格道路」の早期実現を強く望む。上田から中南信地区や名古屋、関西圏へのアクセスの悪さを早期解決して欲しい。
- ・松本市と上田市をつなぐ国道 254 号線の道路拡張と整備、そして三才山トンネルと平井寺トンネルの早期無料化を希望する。
- ・赤坂上から古船橋にかけて上田丸子線の歩道が狭いので広げて欲しい。
- ・上田バイパスの道路整備が進んでいない。沿道の草が生えすぎていて何もしていないように見える。今、しなければならぬことを取り組んで欲しい。
- ・電柱を地下に埋めて歩道を広く使えるようにして欲しい。

●鉄道・バスなどの公共交通機関の利便性について

- ・高齢者が買い物へ行けるような無料バスが必要だと思う。もっと広い範囲で実施して買い物難民を減らして欲しい。老人が病院へ行くための送迎車を利用できるようにして欲しい (できるだけ低料金で)。
- ・公共交通の強化 (可能であれば深夜 0 時のバスを最終として走らせたいです→夜間まで飲食店が賑う→中心市街地に活気がさらに生まれる→産業も盛り上がる→経済も良好) 深夜便は運賃を真田なら ¥300→¥600 (通常の 2 倍) にしても十分需要があると思う。
- ・公共交通機関の利用料金を上田市民は安くするなどして上田市民と他の地域の人との差別化をはかるべき。
- ・公共交通機関を多く利用できるような自動車がもう少し制限した走りになると年寄りには幸せだと思う (自家用車が多くて怖い道路です)。バス・電車の利用をもっと便利に、誰もが使うようになればもっと良いと思う。
- ・利用客が無い低減バス等に無駄な税金を使うのはなぜか。
- ・別所線をもっと全国的にアピールし、廃線にならないようにして欲しい! 地域にとって大切な交通である!
- ・交通もバスが減っていて自動車を乗れなくなったらどうするのだろうと不安だ。長野市のよう

にたくさんの路線がないため、学生が通学に大変苦勞している。親が毎日学校まで送っていつて、どうにか卒業したケースもある。他県にあるようなもっと安い価格の巡回バスがあればいいなと思う。

- ・バスを低料金で運転しているが、本数が限られていて使用しづらい。利用しやすくして利用客を増やさないといけない。
- ・オランダやデンマークといった自転車大国を参考にし、環境に優しいまちづくりをして欲しい。真田のレンタルサイクルの取り組みは素晴らしいと思いますが、走る自転車道が不足している。どこの町も成し遂げていない「町全体の自転車道の整備」を全国に先駆けて上田市で実現して欲しいです。上田のスイーツマップを作成し自転車で巡るのも面白い。スイーツと自転車のまちという新しい上田のまちづくりも可能。

●公園・緑地や子どもの遊び場について

- ・公園を大きくし、遊具も増やして欲しい。
- ・子供が学校の後に遊べる公園が欲しい。車でわざわざ行かねばならないのが信じられない。
- ・イトーヨーカ堂跡地を公園（広場）として整備して欲しい。
- ・子供達、お年寄りが近くてゆっくり出来る小公園をいくつか作って欲しい。
- ・外に公園があれば孫を遊ばせられる（塩田・特に五加には何も無い）ことができる。
- ・子どもがいるのですが、公園が本当に少ない。遊具もそうですが、自転車の練習など多目的に使える施設が欲しい。
- ・アクティビティの充実、動物と触れ合える施設があるとうれしい。
- ・健康プラザのように立派すぎる建物はありますが、子供達が遊べる広い公園が少ないと思う。
- ・健康プラザの広場は、子供の数に対して狭すぎ。子供の怪我の対応について、遊具が少なすぎるし、汚れ・破損等が目立ちすぎる。子育て広場も小学校の生徒と共用のため、夏休み等利用できない場所があり、子育てがしにくい。数も少ない。
- ・大きな遊具のある公園をもっと造って欲しい。東御市民公園や佐久のイオン近くにできた公園のようなところ。

●ゴミ処理など環境衛生について

- ・ゴミ収集について、収集場所があるのになぜ、アパート単位でそういう場所を作らなければいけないのか。目と鼻の先に大勢の方が捨てる場所があるのにおかしい。早急に改善して欲しい。
- ・生ゴミの低減化対策としていた施設を有効活用して欲しい。
- ・ドブにごみがつまって、雨がふると、あふれてこわいです。自分で土のうを用意していますので、ドブの整備をやってもらいたいです。
- ・燃えるごみについて、袋を小さくしてもらいたい。理由は袋が大きいと何でも入れたくなる。
- ・ゴミの減量化を進めなくてはならないと思う。新クリーンセンターは上田市、東御市、長和町のいずれにも近い場所に建設されることを希望する。環境問題、温室効果ガスなど最優先に考えて欲しい。ゴミ収集車の移動距離はなるべく短くするべき。
- ・各自治会において月1回のペースで資源ゴミ回収を行っていますが、アリオのように気軽に空き缶などが回収してもらえらる方式にしたらどうか。

- ・家庭ゴミや缶など野外通路に捨てないよう個人のマナーを高める教育・指導の徹底、運動を強化して欲しい。

●街並みの美しさやゆとりある空間について

- ・古民家などを壊し更地にすると美しく、なつかしい街並みが消えていくと感じる。道路整備などせずに放っておけばいいと思う。
- ・私は、須川地域の整備を要望したい。当集落の住民ではないが、山と湖、そして棚田を生かした里山の観光開発、豊かな自然資源を活用して欲しい。市街地からほど遠くない素晴らしいところだと思う。
- ・長期的な視点でまちづくりを考えていただきたい。例えば小布施町のように。

●川の水質や自然環境、景観について

- ・白蛇神社の湧水が腐り、虫が大発生している。たぶんバイパスを作ったことで川の流れが悪くなり起こったことだと思う。もとの綺麗な水に戻して欲しいです。中途半端な開発はやめて欲しい。
- ・無公害都市宣言・ノーカーデーを増やし、富山市のように低床トラム（電車）を走らせ、蓄電池（水素）バスにして低炭素社会をつくる。
- ・上田市には広い空地が沢山あります。ソーラー等で空地等の前向きな活用を特に望む。
- ・エネルギーの自給自足を目指して太陽光、水力、風力そしてゴミや間伐材を使ってバイオマス発電など日本を代表できる自治体になってください。

●防災・災害対策について

- ・さまざまな災害が起こっているので、しっかりとした体制を作って欲しい。
- ・今年の2月の大雪時に大変な思いをした。我が家は山間部にあり、市街地は雨でも、ここは雪ということは普通でした。今年の大雪は、例外だとしても、山間部の地域には少なくとも1台除雪車があればと思う。
- ・上田市が安心・安全に暮らせるために必要な防災対策の充実が必要。
異常気象に対応できるまちづくり。（自宅の裏が山なので最近の土砂災害に敏感になっています。）
- ・山間部での崩落洪水災害対策が必要。（樹木が大きくなりすぎ根が岩盤まで到達し風雨で崩壊しやすくなっている。）
- ・大雪も災害の認識とその対策。（配達給食者への対応。）
- ・上田市ハザードマップが作成されているが、対策計画等につき該当世帯に通達されているのでしょうか？
- ・最近の異常な天候で、いろいろな場所で大きな災害が起きているが、上田市は、あまり大きな災害が今のところ起きていない。
- ・山間地に住む私達の防災はどうしたらよいのでしょうか？一番の課題だと思う。どこに誰が住み、年齢、動けるのかどうか、住民の状態を把握していかなければならないと思う。
- ・今までは大災害もあまりなく過ぎて来ましたが、これからはあらゆる災害を想定した安全、

保全対策に力を入れて行って欲しい。

- ・雪害・水害等に強いまちづくり、住民が解決できるよう、地域予算の制度確立し、安全・安心な生活ができること。
- ・近年、大雪、大雨、地震など災害に備えた、防災マップやライフラインの確保ができる自治体や市政が求められていると思う。備蓄や防災用具の蓄えを日頃から住民分の用意できれば理想的だ。

産業・経済

●駅前周辺・商店街の活性化など商業振興

- ・駅前商店街の活性化
- ・上田駅前には、子供や大人も休憩できたり、人と待ち合わせができる店がなさすぎる。
- ・上田駅から上田城跡に向かつての街並みを観光客が喜びそうなお店の内容にした方がいい。松尾町や原町、海野町の人達が一丸となって取り組んだらいいと思う。
- ・大河ドラマに向けて、上田城跡公園からのつながりのある（歩いていけるような）観光地を整備した方が良いのでは。上田公園から丸山邸へとか上田公園から柳町へなど
- ・上田駅前は大きな店も、レストラン、喫茶店もなくほんとうに不便。駅前がさびしい。駅前をもっと充実して欲しい。海野町、原町をもっと活性化して欲しい。
- ・新幹線ができた時に、駅前開発が遅れ、今もイトーヨーカドー後はそのまま。街の中はシャッターのお店、少し入った住宅街は空き家ばかり。このアンケートも、漠然としていて、「みんなどちらとも言えない」という感じ。子供の頃からの市営プールがなくなり駐車場になるとか、大河ドラマ「真田丸」が影響しているからでしょうか。
- ・上田駅前のビルは、一度も利用したことが無い。何のために建てたのか分からない、駅前活性化に支障している。
- ・上田駅前があまりにも閑散としており、観光客が上田駅前に降りてどう思うでしょうか。上田のみならず、地域との交流を活性化させるために特に松本地域に行く三才山トンネルの無料化を希望する。
- ・駅ビルを作って電車の待ち時間を有意義に過ごせるお店を作った方が良くと思います。アンケートをするならきちんと意見を聞いてもらいたい。
- ・北陸新幹線が金沢まで延伸するのに上田駅が今のままでは全く魅力がなく観光客が素通りするのが目に見える。
- ・上田駅前にヨーカ堂がなくなり、立ち寄る場所がない寂しい駅前です。
- ・新幹線の駅があるのだから、もっと活用できるように開発したら良いと思う。（駅までの公共機関、アクセスの充実。また、市外から見た魅力ある施設）
- ・市街地が閑散としていて、かつてのような賑わい也没有。上田駅お城口からの町中に続く商店街が城下町らしい雰囲気のある町になって欲しい。観光客が訪れ市民も楽しめるようなまちづくりを若者や女性の意見も取り入れて進めて欲しい。
- ・上田城址、上田駅などを回遊する歩道の整備
- ・駅前のイルミネーションはセンスがないのでやらない方が良い。

- ・上田駅に降りてから全く特長のないメイン通りだと思う。緑が少なく、商店街はベンチがなく散歩する気にならない。上田城まで誘う魅力的なまちづくりと、かわいいバスで乗降自由な無料バスを提供、見せ場も積極的につくる。10年計画でやったらどうか。温泉巡りも若者に人気がある。芸術家（上田市在住）の紹介等、まず何が売りかを考えることが大事。
- ・上田駅前の駅ビルをもう少し何とかできないか。観光で上田駅に降りても何か物足りなさを感じる。子供がいっぱい遊べる緑豊かな公園が欲しい。上田公園は少し狭いです。市民の森は逆に広すぎて整備が行きとどいていない気がする。東御市のような公園があれば良い。

●イベント開催など地域振興

- ・市民に浸透していないお祭りなど（例：ねふた）はやめて欲しい。税金のむだ遣いだと思う。
- ・今の上田市は祭り事に金を使いすぎ（例：ねふた祭り）もっと重要なことがあるはず。特に子育て支援をお願いしたいです。無駄な税金を使わないで欲しい。
- ・市の中心地に人が集まれるような何かがあれば良い。夏祭り（上田わっしょいなど）にはあれだけ集まれるのだから何かあれば良いのにとと思う。中央商店街、何とかなれば良いのだが。
- ・市民祭り及びイベントが少ない。もっと大規模の大きい祭りを
- ・サントミュージゼ活用化！！（今まで、松本や大町で多かったコンサートや、舞台を（大好きなので）、上田でやっていただけたらすごく嬉しい！！）
- ・昨年「日本一の秋まつり 真田幸村公出陣ねふた」を見物してガッカリ。その感想を主催者に伝えたかったが手段が分からず断念。
- ・サントミュージゼを活用した一流の音楽家や芸術家の定期的な音楽会が開催できるようにして欲しい。
- ・もっとイベント（お祭り）が多くできれば市としてにぎわうと思うので、夏以外にもそういうものをして欲しい（長野市のえびす講花火大会みたいなもの）。
- ・定期的に開催されるイベントを増やして欲しい。例えば、マルシェ、蚤（のみ）の市（骨董市、朝市など）、フリーマーケット、フェスなど。場所は上田城など。老若男女が集まれるイベントや地元の物が集まったイベント、さまざまなイベントがあったら面白いと思う。

●観光振興について

- ・観光地のアピールポイントとして、身近な自然を利用した体験教室のようなものを開催したらどうか？市独自のものではなく、民間との連携もよいのでは。県外の知人を上田に招いた時、市内観光しかなく何か上田らしい遊べる場所、体験できるものがあれば楽しい（週末だけでもよい）のでは。
- ・既に魅力的な自然と周遊するのにちょうどいい規模の街並みがあるので、コンテンツとなる歴史や食べ物、お店、人物などの見せ方に関連性をもたせ、インターネットによるスマホへの情報発信などもうまく利用しながら新しい発信を仕掛けて欲しい。魅力的で個性的な新しい店（個人企業家）をどんどん市外から誘致して、上田でなければ出会えないものが増えて欲しい。
- ・真田丸の放映に伴い観光客が上田に来る。駐車場、トイレの増設と清掃をお願いする。ボランティアの活用をお願いします。
- ・上田市の特産品をもっと都会や海外にもPRし、海外の観光客も取り込めるように、いろいろ

チャレンジして欲しい。

- ・大河ドラマはある意味チャンスです。一時のブームにならぬように断続して観光客の誘致を！または新幹線が通過駅にならないように魅力あるまちづくりを（商店街が寂しすぎる。名物になるような食べ物があつた方がよい）伊那→ローメン、駒ヶ根→ソースかつ丼。地域をあげて一つアピールしてみましょう。
- ・観光地を目指すのであればもう少しお客様に対しておもてなしの心が見えるまちづくりを進めて欲しい。例えば、土産屋の充実や上田駅から上田城までのアクセス通路の見直しなど。
- ・上田駅から上田城までの観光ルートを整備し観光客がゆっくり見学できる歩くコースを作る。観光会館をもっと魅力あるものにしてしっかりした土産物や上田紬、名産品等の陳列を工夫する。2階のお城側は大変景観も良いのでガラス張りにしてカフェ等にする。旧上田市内には道の駅がない。これだけ野菜果物等の産地なので観光に生かすべきではないかと思う。
- ・昭和40年代まで街の中は賑わっていた。やはり現代では街の中に無料駐車場を設け、店同士がまとまって、小布施のような景観作りをしたらどうか。「幸村」に固執するより、上田城ばかりでなく、上田全体の神社仏閣を考えた方がいい。「幸村」は一過性のものでしかない。
- ・観光施設の充実（外国人誘致推進）
- ・地域の持っている特徴を生かしたまちづくりが大事。安く借りられるレンタルサイクルを充実させると観光客にとって大変便利になると思う。（各ステーションで乗り捨てが出来るのもっと良い）
- ・上田城跡公園付近に高級感のある食事処が必要（例えば竹風堂のような）。上田の商工会は、個々に自分の利益ばかり優先させるから、結果的にさびれてしまう。真田十勇士の小さな像がその現れ。歴史上の幸村などの知名度にばかりに、頼るのはやめて、現在の市街を美しく整えることが重要。おいしいものを真剣に創り出そう（ちなみに「美味だれ」はおいしくない）。「上田紬博物館」みたいなもの。販売もしていて高級感のある建物で。これも上田城付近に。
- ・手を加えても生かせる古いものは残し、城下町の風情を大切に守り、今回の「真田丸」撮影というビックチャンスも大いに観光につなげ、再び足を運びたくなるような魅力ある上田市へ・・・と願っている。
- ・新幹線の金沢までの延伸に伴い、ぜひ観光面での集客に力を入れていただきたい

●企業誘致など産業振興

- ・有名企業を誘致して、市全体の活性化を図り、市民の就職等の充足発展、海野町、松尾町、原町中心街の再生を図って欲しい。
- ・企業を市外へ出すようなことは絶対してはならない。
- ・若者が生活力を持てる産業の育成をお願いしたい。
- ・若者の就業率を上げるために企業をもっと活性化して欲しいです。
- ・積極的に企業誘致により有効求人倍率を高め、上田市からの若者の流出に歯止めをかけて欲しい。

●農業の振興について

- ・休耕畑・田などの再利用を考え、荒地にせず有効に使用する方法を考えて欲しい（市民農園、

太陽エネルギー蓄電等)。

- ・田畑の耕作放棄地が増えている。市は土地の所有者に対し、積極的に草刈りを働きかけて欲しい。
- ・農業での若者定住を目指す。
- ・地産地消で地元の農家と連携して上田の特産品や郷土料理など広く知ってもらい地域の活性化につながれば良いと思う。
- ・自然豊かな観光資源と攻めの農業で豊かな市政を望む。

健康・福祉

●医療施設・救急医療体制について

- ・上田市の信州医療センターを中核として、さらなる医療体制の充実を(具体的には市民が参加しながら方向性を決める)
- ・現在、一番不安を感じている事は緊急医療体制だ。近くに緊急に十分応えられる機関が無い。スタッフが揃っていない実態がある。医療面でも市民にとって安心できるまちづくりをお願いしたい。
- ・上田市の高度医療に対する評判が悪い。
- ・医療施設の充実、医師の確保等、他市の医療機関に行かずに済むようにして欲しい。
- ・上田医療センターに良い先生をお願いしたい。
- ・上田市に国立病院は必要ないと思います。診察して欲しい時にみていただけないからです。佐久病院や小諸厚生病院のような融通をきいてくれて誰もが安心して通える(困ったときはこの病院があるから大丈夫と思えるような拠点) 国立・市立ではない病院があると良いと思う。
- ・何か緊急の時は、佐久総合病院まで行かなくてはなりません。本当の緊急時の総合病院が必要だ。中野・飯山→北信病院、長野→日赤、更埴・戸倉→日赤、松本→信大・相沢病院、諏訪・岡谷→諏訪中央病院 ⇒上田→佐久総合病院 遠すぎです！
- ・医療、医師等の質が悪い。
- ・信州上田医療センター駐車場の増設。
- ・24時間体制の小児救急があると良いなを思う。
- ・設備の整った市民病院が欲しい。佐久の入院患者の70%程は上田市民と聞いている。
- ・休日、夜間の救急医療体制について、もっと周知して欲しい。夜間など救急車を呼ぶほどではないが、診てもらえるところがあると安心。
- ・急に具体が悪くなり、昼休み中だったためかどこの病院も利用できず、やっと電話がつながったところは「大きい病院へいったらどうですか？」と言われ信州医療センターへかけたら「紹介状がなければダメ」と断られどうしていいのかわからず一層悪くなり死を覚悟したほどです。母も脳出血で倒れた時、上田の病院では受け入れてもらえず小諸まで行き手遅れでした。この先上田の医療体制ではとても不安です。
- ・地域の医療体制の強化、上田医療センターではダメ。佐久総合病院、信大、松本、相沢病院へ行くしかない。
- ・休日や夜間の医療の医療体制を整えて欲しいです。受け入れてもらえず困ります。

- ・信州医療センターをもっと活用できるようにして欲しい。
- ・医療環境が悪い。特にがんの治療は長野市、松本市へ、不妊治療は諏訪市、長野市へ通う方が多いと聞いている。心身ともにストレスが多いことなので、せめて通いやすい環境に病院があればと思う。
- ・先日、知人が脳内出血で市内の病院へ救急車で搬送されましたが、翌日命を落としました。常々言われている上田市内で脳の病気になったら助からない！という言葉が現実のものとなってしまった。上田市内に佐久のような大きな信用できる病院があればと身につまされました。医療施設がない！ということ永遠のテーマにはしてほしくない！！
- ・安心して子供を産める医療体制作り。
- ・医療費について、薬局ごと薬剤費が高低の差があるので統一していただきたい。
- ・市域医療体制の充実について、もっと川西方面に夜間の緊急病院体制を充実して欲しい。医師会との関係もあるが佐久方面や長野方面に搬送の例もある。
- ・子育て世代には、優しくない環境だ。夜間の子ども救急は、時間で断られるので意味がない！！

●子どものための施設やサービス、子育て支援などについて

- ・子供の医療費振り込みのお知らせはがきは毎月不要。無くてもいい。
- ・地方は共働きでなければ暮らせない。保育園での親の負担減らして（保育料）
- ・子どもの医療費を無料にして欲しい。
- ・今、中学3年まで医療費が無料を高校3年に引き上げて欲しい。
- ・ひとまち元気健康プラザの「にじいろひろば」のように、子どもが遊べる施設が近くにもっと欲しい。開館時間が短く土日がやっていないところが多く利用しづらい。
- ・県内には、少子化とは無縁のむしろ出生率の高い市町村があるが、行政で子育て支援の強化を図っている地域がそのような傾向にあるように思う。他の地域の良いところを取り入れるなど新たな政策を強く要望する。子は地域の宝。子どもが増える市になればと思う。
- ・子どもたちが夢や希望をもてるまちづくりをして欲しい。また、子供たちが安心して生活できるように、地域や行政の支援を強化して欲しい。
- ・子供が産みたくても経済的理由などで人数を制限せざるをえない状況。少子化の歯止めになるためにも、保育園、義務教育の無償化など行って欲しい。
- ・子どもが室内で遊べる施設（特に雨の日などに）を増やす or 充実（利用時間の延長や年齢に応じた場所）して頂けたらうれしい。
- ・子育て世帯への税制優遇など他市に比べあまり積極的でない市だと感じている。子育てしやすい環境づくりをさらに進めて欲しい。
- ・児童手当よりも義務教育における給食費の無料化を検討して欲しい。
- ・児童手当・医療手当の配布方法と期間についての見直し。期間については全てが同じになるように月計算して欲しい。
- ・子供が安心して遊べる場所が少ない上田市 3 都市で過ごし子育てをしてきた我が家ですが、上田が一番子育てしにくい。もっともっと考えないといけない。将来今の子ども達は上田に戻ってこない。お金を上手に使い、市民に優しい上田にして欲しい。
- ・「にじいろひろば」は職員数をもう少し増やしてもよいのでは？他の支援センターに比べて広

さも利用者数もかなり多いので、先生方がいつも本当に大変そうに見える。他の支援センターでは、わりとゆっくり先生ともお話できるのですが。

●高齢者のための施設やサービスなど高齢者福祉について

- ・高齢者となっても働きたい、収入を得たいと思った時に働ける場所が欲しい。
- ・高齢になっても暮らしやすいまちづくりを望む。
- ・高齢化社会に必要な老朽化が目立つ老人福祉センターの建て替えをお願いしたい。
- ・高齢者、障害者が暮らしやすい街になれば上田市は素晴らしい市になり移住者もぐんと増加する。
- ・高齢者が孤独死などをしないまちづくり。
- ・「高齢者の市」になっていくであろうに住みにくい。赤バス、青バスもバス停が近くにないので使えません。
- ・高齢のため、シルバーカーを押して自治会館へ行くが、大通りから入った道は凸凹で整備されていないので、シルバーカーがスムーズに動くようにしてもらいたい。雨降りには車で水が飛ぶこともある。
- ・高齢化が進んでいます。高齢者が安心して長生きできる上田市の体制を強く希望します。また、上田市に住みながらみんな佐久病院へ行くことがなぜ？と思う。
- ・これからのことで心配なことは、今、車に乗っているが、10年後、20年後に車の運転ができなくなった時の不便さである。
- ・私は85歳のおばあちゃんです。今まで健康で生きてきました。これからの若者達が安心して生活できるまちづくりをしてください。
- ・医療費を低く抑えるために、高齢者の健康推進のために実施されている体力測定、パドル体操、ノルディックウォーキング、マレットゴルフなどに補助金を出すなど、介護度の低い人に重点を置いた施策を実施して欲しい。
- ・高齢化社会と言われている現在、高齢者が心身ともに健康で生活できるようなことを優先に考えて欲しい。高齢者を上手に使うなど、元気で文化活動に率先して活動する高齢者を増やしていくことが医療費などの減少につながると思う。
- ・これからの社会において、健康で安心して毎日が暮らせるよう医療福祉の充実を願いたい。グループホーム作って欲しい。老人の集まれる場所を多くして欲しい。

教育面について

●文化や芸術に親しむ機会や施設などについて

- ・私は図書館をよく利用しますが、近隣の市町村と連携できていてとても便利。
- ・公民館等で開催する講座など、働いている人も参加できるような時間帯、曜日の講座を開催して欲しい。
- ・コンサートなどの開催。図書館をもっと大きくして欲しい。蔵書数も増やして欲しい。学校の長期の休み（特に夏休み）を伸ばして欲しい。県外に住む祖父母と休みが合わず、子どもたちと接する時間が取れない。子どもたちにいろいろな体験をさせてやりたい。

- もっと図書館があるといい。駅前のパレオと中央図書館以外に上田市西側、塩尻地区等にも図書館をつくってください。
- 図書館を増やして欲しい。
- 図書館（情報ライブラリを含む）の充実を望む。塩尻市の「えんぱーく」のようなものを目指して欲しい。本が少なく古いものばかり。上田は大型書店も少ないです。海外でも活気のある街では、若者からお年寄りまで書店や図書館に多くの人を訪れます。文化を高める取り組みを期待している。
- 市立図書館の充実をお願いしたい。以前住んでいた伊那市、松本市の市立図書館は設備も含め充実している。材木町の図書館は古く本を読むスペースが狭く、あまり足がむきません。サントミュージゼもよいのですが図書館も整備をお願いします。
- 上田図書館がだいぶ古くなったと感じます。もっと子供たちが利用したくなる図書館をつくって欲しい。
- 市民の森をもっと活用できる魅力ある場所にして欲しい。埋もれている文化財を掘り起こし再活用する（真田氏だけでなく）観光客が来ても上田城周辺だけで帰ってしまうのではもったいないので、上田歴史、文化、美しい風景などアピールしてはどうでしょうか。サントミュージゼも入場料が高いミュージシャンばかりでなく、安くても入れるようにして欲しい。
- 文化遺産をうまく利用したまちづくり。
- 交流・文化芸術センターは、莫大なお金（税金）をつぎこんでできたもの、維持管理費用も相当かかると聞いており、健全な経営を望む。
- 文化施設は重要だが、高額な維持費がかかり市民負担が大きい。他市町村と共同で利用する方がよい。年間の維持費等を市民に知らせて欲しい。
- 素敵なサントミュージゼを作ったので、若い人達が集まり有効活用できるよう、市民の中心となるような施設となって欲しい。舞台や演劇を見るだけでなく、市民が足を運べる施設となって欲しい。
- 素晴らしい文化施設サントミュージゼが完成し、上田市の自慢ができた。

●幼稚園、小・中学校の施設、教育について

- 市内の小学校、中学校の老朽化が激しい。神科小学校は雨漏りがひどくなっている。
- 子供達の教育現場の設備と環境を整えて欲しい。この暑い中教室に1つしか扇風機がない環境で勉強していて体中あせもができてしまっている状況。
- 少子化により真田地域の保育園や小学校の児童数は減少している。将来統廃合を検討する時期がくると思う。クラスの人数が少なすぎて集団活動ができない。将来的の早い時期に統廃合の検討をお願いしたい。
- もう少し学校教育（小・中・高校・大学・専門学校など）の教育体制を見直して欲しい
- 不登校児童のない家庭教育の充実、教職員の質の向上
- 三中地域に住んでいます。学校は古くて少しずつ直していくよりも一気に建て直した方がいいのではないかなと思う。市民会館が新しくなったのはいいけど、先に学校の方をやるべきだと思う。うちはまだ小1ですが、いずれ三中に通うようになるので心配している。
- 教育について、もっと根本的な人間力につながる学校や先生方への質の向上にメスを入れて欲

しい。

- ・保育園にクーラーを入れて欲しい。新しい小中学校にクーラーが入っていて、体力のない小さな子が 30℃以上の部屋で耐えながら暮らしているのが信じられない。孫がかわいそう。
- ・給食費が他県と比べ高いと聞いたが地元産の物を使用すれば、さらにコストを削減できると思う。
- ・長野大学を公立化して欲しい。若者に来てもらい、魅力ある上田市に愛着を持ってもらうことで定住し、街が活気づくといいなと思う。県外に流れるのはもったいない。
- ・小学校、保育園など、子どもにお金をかけてください。去年も今年も暑い夏でした。孫が保育園に行っていますが、暑くてお昼寝できないと帰ってくる。
- ・塩田中学校はようやく新築されて、冷房も整っている、一方築 40 年、50 年と経過している五中、三中とか四中など、こんなに大きな格差があつて良いのでしょうか。同じ市民として同じ税金を納めている。不公平感はぬぐえません。早急に対策、対応を望む。
- ・今年度から変更になった部活動（朝練なし、など）ですが、全くかわっていない気がします。自主練をうたった強制的な朝練、活動名のみ変えた社体、社音（会議や手間の時間ばかりかかったのに内容は全く変わらず・・・）。ほぼ毎週土日も両日部活になる日が多く、自主練といいつつ、強制に近いのが大問題と思われる。
- ・他県から入ってきた者として一番びっくりしたことは、幼稚園の少ないこと。子供の入園先を探すのと同時に、自分の職探しもしなければならないというのが現状。私立幼稚園もありますが、できれば公立と考える親は少なくないはず。
- ・教育の中で自然を感じられること、伝統食などを大切にしてもらえたらうれしい。

●スポーツに親しむ機会や施設などについて

- ・スポーツ施設の老朽化が目立っており、大きな大会等が開催しづらい。
- ・サッカーのグラウンドを作って欲しい。松本市・塩尻市周辺にはたくさんあるので、東信地区には少ないと思う。
- ・以前、芝生グラウンドをつくるとおっしゃったのですが、できたものは河川敷にお粗末なものでした。サッカーの大会も上田の少年達は、砂埃の舞うグラウンドで行っています。千曲川グラウンドや松本、長野、飯田には立派なグラウンドがあります。全国へ行くチームが毎年出ているのに、上田に芝生グラウンドが 1 つもないなんて・・・。どうかご検討ください。
- ・運動施設が充実していない。他市と比較してグラウンド・体育館等使用しにくいことを常を感じる。サントミュージゼにかけのお金をそちらにも使って欲しかった。
- ・市民体育館の老朽化が著しいため、建替えても良いと思う
- ・上田城の公園プールは夏、多くの幼稚園や保育園が使用しているとても大事な場所。これからの子供たちのためにももう少し整備されたプールであって欲しい。
- ・上田市民体育館を新しく建て直して欲しい。
- ・丸子地域にプールがあると有難い。
- ・子どもなどのスポーツ大会で使われるような施設を建設し、上田市内で多く大会を行ってもらう。そのため、税金を行政の施設のためでなく、公共機関やスポーツをするための施設により多く使っていくべき。

**第二次上田市総合計画
住民アンケート調査結果報告書**

**平成 26 年 11 月
一般財団法人 長野経済研究所**